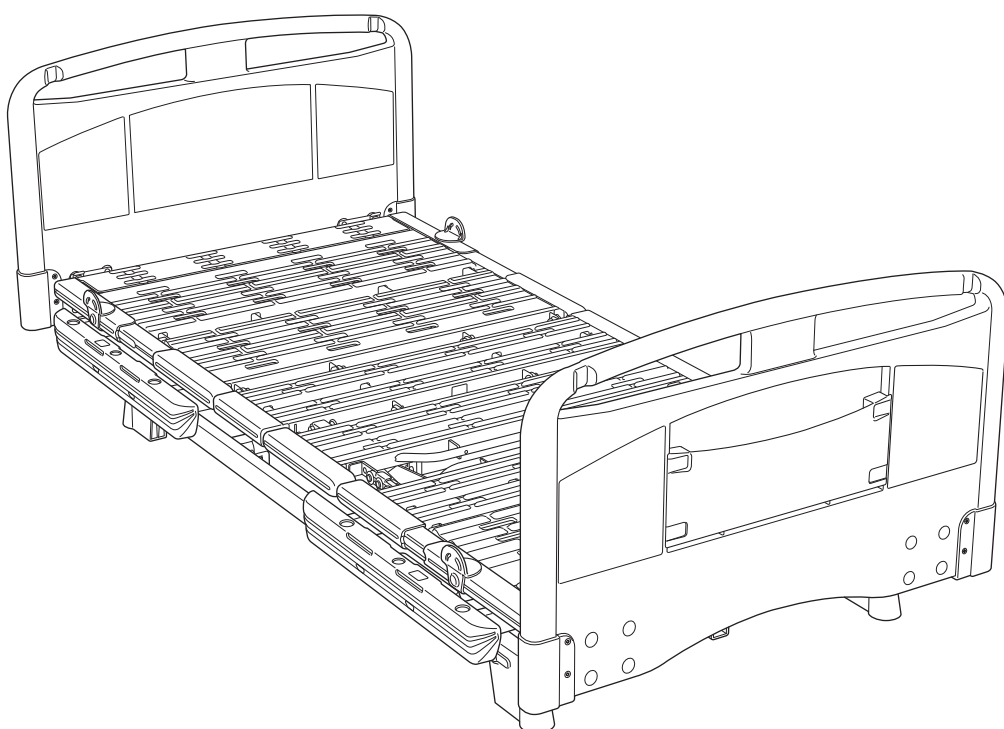


取扱説明書

854020-8902

在宅介護用ベッド R K D フレーム



※ 型式により、デザインは異なります。

まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。

本ベッドは在宅での介護を目的とした製品になっております。

この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための、注意事項と使用方法・組み立て方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

目次

安全のために必ずお守りください.....	3
各部の名称・目的.....	6
部品の確認.....	8
ベッドの使用方法.....	11
ベッドを使用する前の準備.....	11
手元スイッチの操作方法.....	12
安全スイッチの操作方法.....	13
背上げ動作と脚上げ動作の使用方法.....	13
上下昇降動作（ハイロー機能）の使用方法.....	14
背上げ動作と脚上げ動作を連動させる（2 モーターのみ）.....	14
キャスターの操作方法.....	15
ヘッドボードとフットボードの着脱方法.....	16
ボトムとフレームのサイズ調整.....	18
脚上げ位置の変更.....	22
ベッドの分解手順.....	23
分解の前に.....	23
フレームの分解.....	24
ステップ 1：ボトムの取り外し.....	24
ステップ 2：リンクバーの取り外し（2 モーターのみ）.....	26
ステップ 3：アクセサリフレームの取り外し.....	27
ステップ 4：メインフレームの取り外し.....	30
ステップ 5：ハイローフレームの取り外し.....	30
ステップ 6：レッグの取り外し.....	32
ベッドの組み立て手順.....	33
組み立ての前に.....	33
フレームの組み立て.....	34
ステップ 1：脚部の取り付け.....	34
ステップ 2：ベースフレームの設置.....	35
ステップ 3：ハイローフレームの取り付け.....	35
ステップ 4：メインフレームの取り付け.....	37
ステップ 5：ヘッドアクセサリフレームの取り付け.....	38
ステップ 6：ボトム・フレームのサイズ調整.....	41
ステップ 7：ボトムの装着.....	42
ステップ 8：マットレスストッパーの取り付け.....	45
ステップ 9：電源ケーブルの接続.....	45
サイドレールとベッド用グリップについて.....	46
リフトの利用について.....	54
お手入れ方法.....	55
点検.....	56
こんなときには.....	57
停電や故障で背や脚が上がったまま停止してしまったときは.....	58
アフターサービスについて.....	59
保証書.....	59
お客様相談室.....	60

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。

その指示と内容は、次のようになっています。

内容をよく理解してから本文を読んでください。

 警告	記載されている内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。	 注意	記載されている内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損する恐れのあることを示します。
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。(～しないでください。)		この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(～してください。)

注意

設置上の注意

	ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマン、または販売店におまかせください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。		直射日光やエアコンからの風が直接当たる場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるものはベッドの近くに置かないでください。 変形、変色、劣化、火災の原因になります。
	部屋の中でコンセントの位置、家具の引出、扉等の開閉などに支障がないことを確認してください。 ベッドを組み立ててからの移動は困難になります。		電源コードの上に重いものをのせたり、コードがリンク等に挟み込まれたり、ベッドの下敷きにならないようにしてください。 コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。
	ベッドは、室内の突起物のない水平な場所で使用してください。 平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタツキ、変形、故障、事故の原因となります。		電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこあし配線）しないでください。 火災の原因になります。
	ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して、床面の保護を行ってください。		交流 100V、50 / 60Hz 以外の電源で使用しないでください。 火災、感電の原因となります。
	ヘッドボード、フットボード、脚部は確実に固定してください。 思わぬ時に外れてケガをする恐れがあります。		ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。 地震時などに落下物でケガをする原因になります。
	ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。 ●ベッドの頭側 / 脚側（長手方向）：5cm 以上 ●ベッドの両側（サイド）：5cm 以上 ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。		ベッドに固定されている電源ケーブルはベッドから外したり他の機器と接続して使用することは絶対に行わないでください。 漏電、火災の原因となります。
	壁に設置してある棚などの突起物のないところに設置してください。 ベッドの高さを上げる際、突起物にぶつかり、ケガや製品の故障の原因となります。		納入する際にベッドを分解する必要がある場合は、「フレームの分解」に従って行ってください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。
	高温、多湿な場所は避けてください。 反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。		ベッドの設置時にボトムのすき間に指を挟まないように注意してください。

安全のために必ずお守りください



警告

使用上の注意

	必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている、適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。 指定外の製品や他社製品を使用すると、破損してケガをする恐れがあります。また、意図しない隙間の増大により重大な事故の原因となります。		ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人が不用意に使用してしまう事が想定される場合は、挟み込み予防のため手元スイッチで操作禁止設定を選択してください。 挟まれてケガをする恐れがあります。
	症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。 事故の原因となります。		サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。
	子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 思わぬ事故の原因となります。		ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。
	子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 思わぬ事故の原因となります。		使用荷重は最大 1700 N（約 170kg）です（使用者の最大体重は約 135kg です）。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 1700N を超えるときは、使わないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。
	背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかり、怪我などの恐れがございます。		本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。
	手元スイッチでベッドの操作をするときには、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元等にも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じたときには、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。 人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。		モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。
	手元スイッチでベッドの操作をするときには、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元等にも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じたときには、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。 人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。		サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。
	移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調節して使用してください。 転落・転倒などで思わぬケガをする恐れがあります。		ベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下や中に通さないでください。 キャスターや可動部にコードが挟まれて破損し、火災・感電の原因となります。
	ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。また、付き添いの方がいない場合は、安全のため最も低い位置での使用をおすすめします。 ベッドの高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒する恐れがあります。		ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 重大な事故の原因となります。
	手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状態などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなるとされる人には、操作をさせないでください。 誤った操作による事故の原因となります。		サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。
	このベッドは大人用です。12 歳以下の子供、新生児、幼児などは使用しないでください。 また取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人は使用しないでください。 思わぬ事故の原因となります。		

⚠ 注意

使用上の注意

	動作しないなど異常のときは、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。
	電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。
	ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。
	電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
	手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて1つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すと思わぬ動きをし、乗っている人や周囲の人がケガをする恐れがあります。
	手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側にかけてください。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作する恐れがあります。
	操作を禁止する場合や操作しない場合は、付属の切り替えレンチで手元スイッチ裏側の安全スイッチをロックし (🔒)、電源プラグをコンセントから抜いてください。 無意識にボタンに触れて誤動作する恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。 
	頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損する恐れがあります。

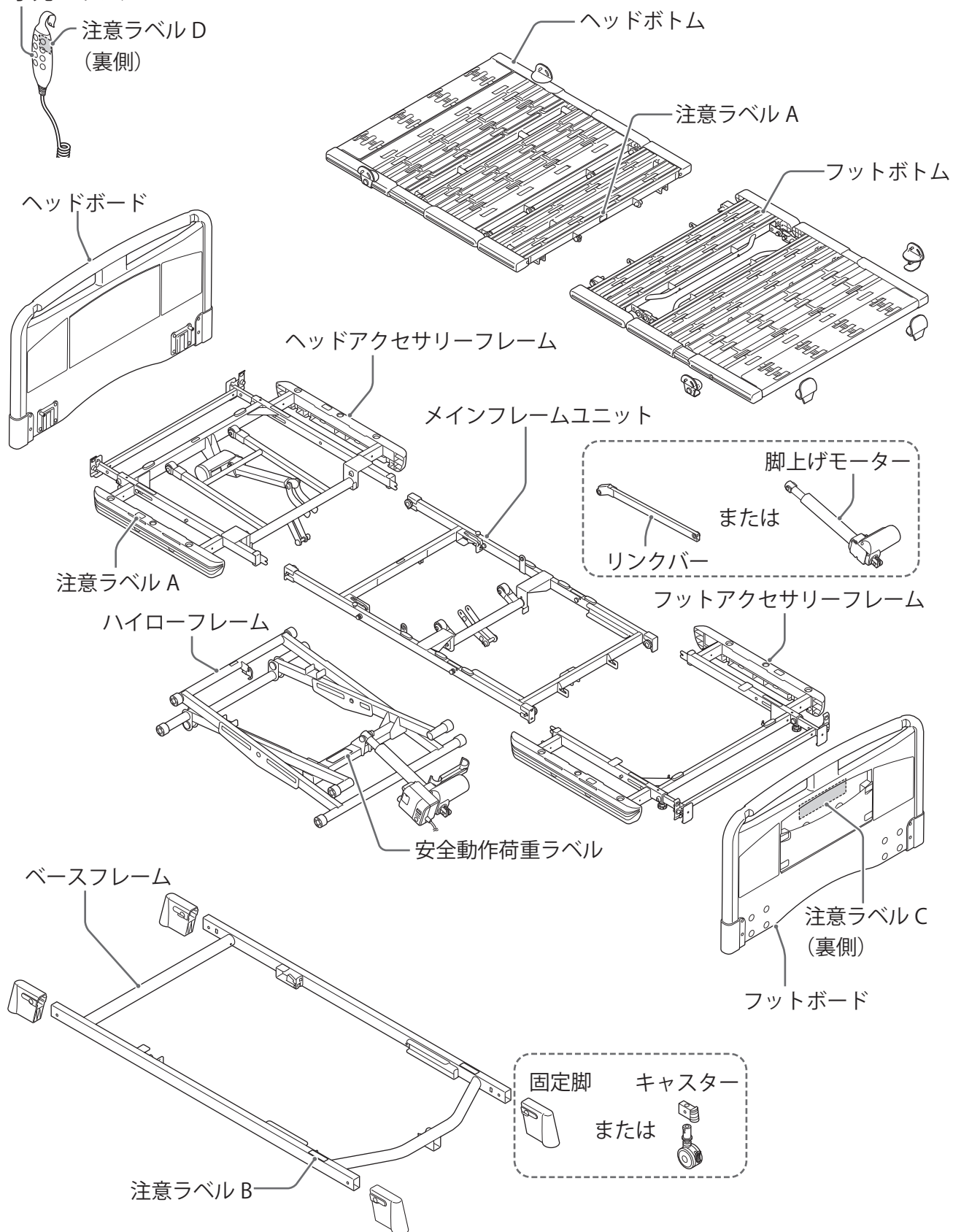
	ベッドから乗り降りする時は、マットレス両脇にあるマットサイドストッパーに衣類を引っ掛けないように注意してください。 ケガの原因となります。
	人を乗せて移動しないでください。 搬送用ベッドではありません。掃除などでベッドを移動するときは、高さを5cm程度上げ、電源プラグをコンセントから抜き、ベッドから人を降ろして全てのキャスターをフリーにし、段差や傾斜した床、コード類に注意して移動してください。 転落、転倒の事故や床を傷つけたり、コードを挟み込む恐れがあります。
	ベッドから乗り降りする際は、ベッド本体のマットレスストッパーなどの突起物に衣類を引っ掛けないように注意してください。 ケガをする恐れがあります。
	ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。
	濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。
	電源や手元スイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。
	モーターや手元スイッチ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。
	手元スイッチのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなどの原因となります。
	手元スイッチを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。
	ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを引きずらないでください。 ベッドが破損する恐れがあります。

各部の名称・目的

- ・ 本製品は在宅において使用する介護用ベッドです。
- ・ 本製品には下図のように注意ラベルが貼付してあります。ご使用前に注意ラベルの場所と注意の内容を確認してください。

※型式によりヘッドボード・フットボードのデザインが異なります。

手元スイッチ



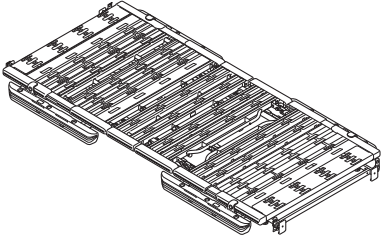
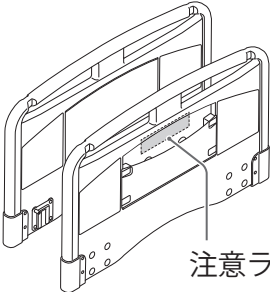
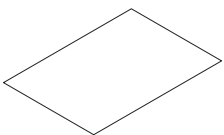
注意事項の中で特に注意していただきたい項目を表示しています。
はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A	 注意 フレーム内に手・指など を入れないでください。
注意ラベル B	 注 意  フレーム内に手・指・物などを 入れないでください。
注意ラベル C	 警 告 ● 頭、腕及び足をサイドレールからだしたまま背上げ、脚上げ操作をしないで下さい。 ● 各部を操作する時はフレームに身体、手足、指を挟まないように注意して下さい。 ● サイドレール及びベッド用グリップ、マットレスは、必ず取扱説明書に記載のものを使用して下さい。 ● 背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。 ● このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないで下さい。 ● 安全使用荷重は 1700N（約 170Kg）です（使用者は約 135Kg）。それを超える荷重で使用しないで下さい。 ● 幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作をさせないで下さい。 ● 分解、改造はしないで下さい。
注意ラベル D	 警告 ◆ 操作をする前に、ベッドの下部や周囲の安全を確認してください。 ◆ 操作を禁止する場合や操作しない場合は、安全スイッチの  を  へ合わせてください。 型式：TRG32
安全動作荷重ラベル	商 品 名：電動介護用ベッド RaKuDa 型式名：RKD-20SW、RKD-30SW、FB-KSB2M、FB-KSB3M (TRG32)  100V  50/60Hz 210W 株式会社トレンドゲート 定格時間 2分／18分（間欠時間） 販売元 フランスベッド株式会社 東京都昭島市中神町1148番地5  = 135Kg   = 170Kg 

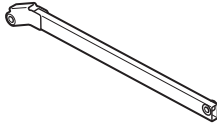
部品の確認

- ・ 梱包箱の中から部品を取り出した後、部品がそろっていること、破損がないことを確認してください。
- ・ 足りない部品や破損している部品があった場合は、販売店に連絡してください。
- ・ 最小のユニット単位で部品に商品ラベルが貼られています。商品ラベル名称を確認してください。

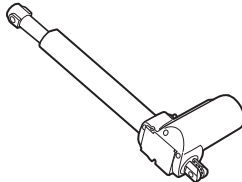
2 モーター仕様／3 モーター仕様共通

梱包数	部品名称		商品ラベル 名称	図	数量	梱包サイズ (mm) / 重量
1		電動フレーム	RKD デンドウ フレーム		1	1050 × 2109 × 279 mm 82 (kg)
		マットサイドストッパー (ボトムに取り付け済み)	—		4	
	付属品	マットエンド ストッパー	—		2	
		マルチピン	—		2	
		ピンストッパー	—		2	
		取扱説明書	—		1	
1	ヘッドボード フットボード ※イラストは「RKD- PI-1」です。 型式によりデザイ ンは異なります。		—	 注意ラベルC (裏側) ※注意ラベルがあるのが フットボードです。	1	701 × 1064 × 150 mm 14 (kg)
	仕様説明書		—		1	

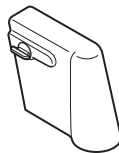
2 モーター仕様の場合

梱包数	部品名称	商品ラベル 名称	図	数量	梱包サイズ (mm) / 重量
1	リンクバー	RKD 2M ヨウ レンケツバー		1	75 × 515 × 44 mm 1 (kg)
	スナップピン	—		2	
1	手元スイッチ HRT-M2	—	 注意ラベル D (裏側)	1	270 × 70 × 69 mm 1 (kg)

3 モーター仕様の場合

梱包数	部品名称	商品ラベル 名称	図	数量	梱包サイズ (mm) / 重量
1	脚上げモーター	RKD 3M ヨウ アジアゲ モーター		1	175 × 430 × 104 mm 2 (kg)
1	手元スイッチ HRT-M3	—	 注意ラベル D (裏側)	1	270 × 70 × 69 mm 1 (kg)

固定脚仕様の場合

梱包数	部品名称	商品ラベル 名称	図	数量	梱包サイズ (mm) / 重量
1	固定脚	RKD L70 [LEG]		4	310 × 150 × 140 mm 3 (kg)

部品の確認

キャスター仕様の場合

梱包数	部品名称	商品ラベル 名称	図	数量	梱包サイズ (mm) / 重量
1	キャスター	—		4	229 × 254 × 179 mm 4 (kg)
	キャスター BKT	—		4	
	ネジ M6 × 16 (平座金、バネ座金付き)	—		8	

ベッドの使用方法

ベッドを使用する前の準備

初めてベッドを使用するときは、以下の準備を行ってください。

- ・ 周囲に障害物のない場所にベッドを設置します。電源コードに十分な余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- ・ 手元スイッチを押し、正常に動作することを確認してください。
- ・ ベッドの動作内でコード類がひっかかっているか、十分な余裕があるか確認してください。

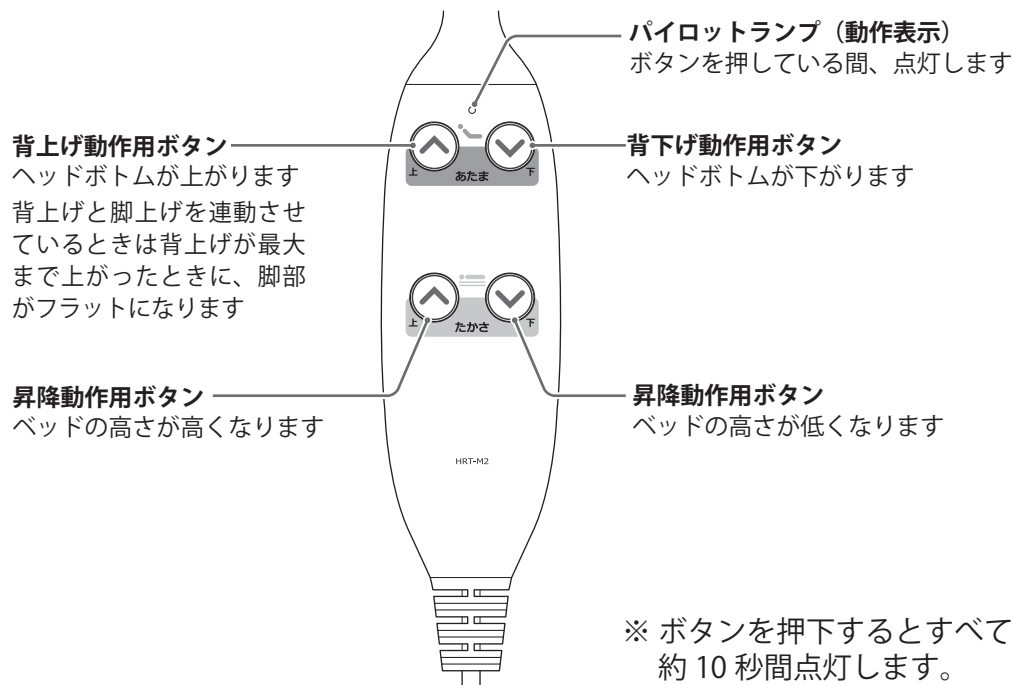
注意

	操作をする前に身体がフレームの中や間に入り込んでいないか、ベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人や物がないことを確認してください。特にサイドレール、ベッド用グリップには十分注意してください。
	手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。
	モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作なくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。

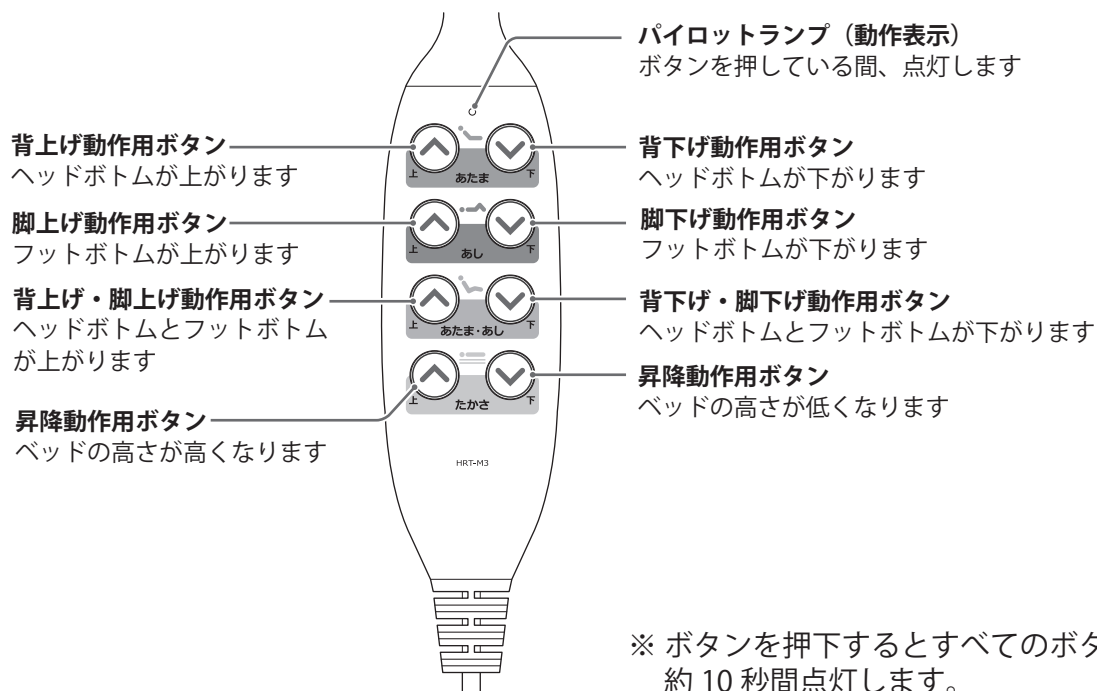
手元スイッチの操作方法

ベッドを操作するときは、手元スイッチの各ボタンは1つずつ押してください。ベッドが動きます。

■ 2 モーター仕様の場合 (背上げ (脚上げ連動)、昇降動作)

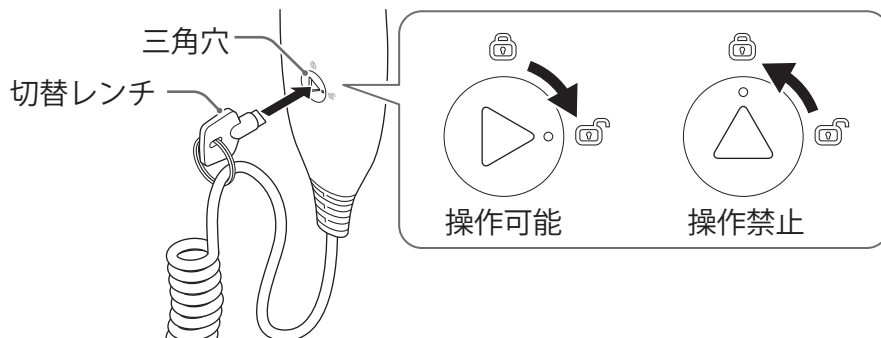


■ 3 モーター仕様の場合 (背上げ、脚上げ、昇降動作)



安全スイッチの操作方法

手元スイッチの裏側にある安全スイッチの三角穴に付属の切替レンチを差し込み、「」にマークを合わせると、手元スイッチによる操作を禁止することができます。「」にマークを合わせると手元スイッチによる操作が可能になります。



注意

「」の位置にマークがある場合は、手元スイッチでの操作はできません。



背上げ動作と脚上げ動作の使用方法

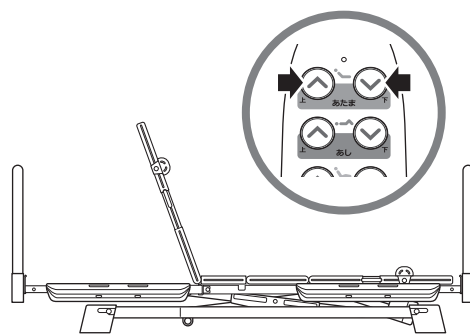
手元スイッチのボタンを押して、背上げ動作や脚上げ動作を行います。

■ 背上げ動作

2 モーター仕様の場合、背上げ動作と脚上げ動作を連動させるようにすると、背上げが最大まで上がったときにフットボトムが平らになるように設定できます。

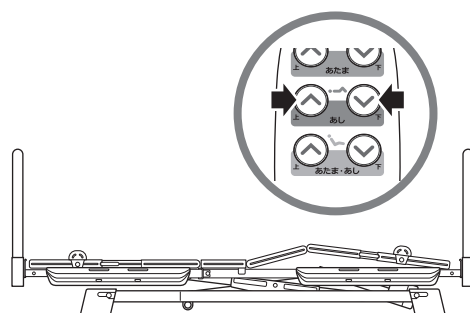
設定については、「背上げ動作と脚上げ動作を連動させる（2 モーターのみ）」（14 ページ）をご覧ください。

- ヘッドボトムの角度を 0 ～ 74° の範囲で調整できます。



■ 脚上げ動作（3 モーターのみ）

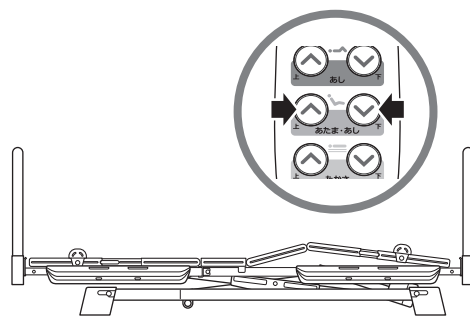
- フットボトムの角度を 0 ～ 22° の範囲で調整できます。



ベッドの使用法

■ 背上げ・脚上げ同時動作（3 モーターのみ）

- ・ 背と脚が同時に動きます。
- ・ ヘッドボトムを角度を $0 \sim 74^\circ$ の範囲で、フットボトムの角度を $0 \sim 22^\circ$ の範囲で調整できます。

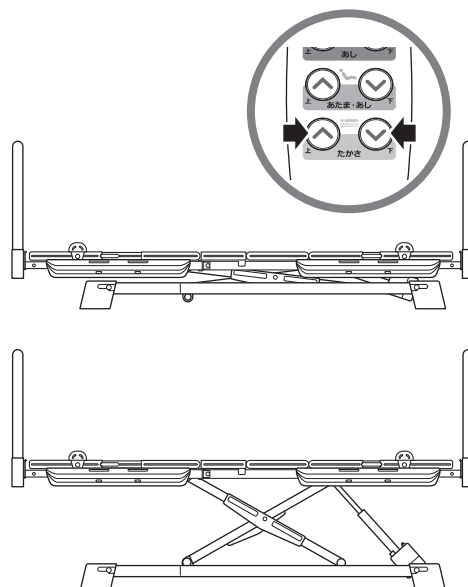


上下昇降動作（ハイロー機能）の使用法

手元スイッチのボタンを押して、上下昇降動作を行います。

■ 上下昇降動作

- ・ ボトムの高さを 250mm ～ 610mm の範囲で調整できます。



背上げ動作と脚上げ動作を連動させる（2 モーターのみ）

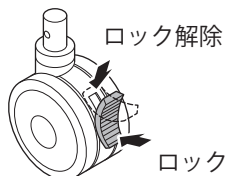
ヘッドボトムの角度が約 20° のときにフットボトムの角度が最大 (22°) になり、その後更にヘッドボトムの角度が大きくなるとフットボトムが下がります。

ヘッドボトムの角度が最大するとき、フットボトムの角度が 0° になります。

背上げのみの動作へ切り替えることもできます。切り替えるときは、リンクバーを外してください。リンクバーの取り外し方法は、26 ページの「ステップ 2：リンクバーの取り外し（2 モーターのみ）」をご覧ください。

キャスターの操作方法

- ・ ベッドには 4 か所キャスターがあります。
- ・ キャスターのレバーを踏むと回転・旋回が同時にロックします。
- ・ キャスターのレバーを上げると回転・旋回がフリーになります。
- ・ ベッドを移動するとき以外は必ず側面側 2 か所以上のキャスターをロックしてベッドを固定してください。



⚠ 注意

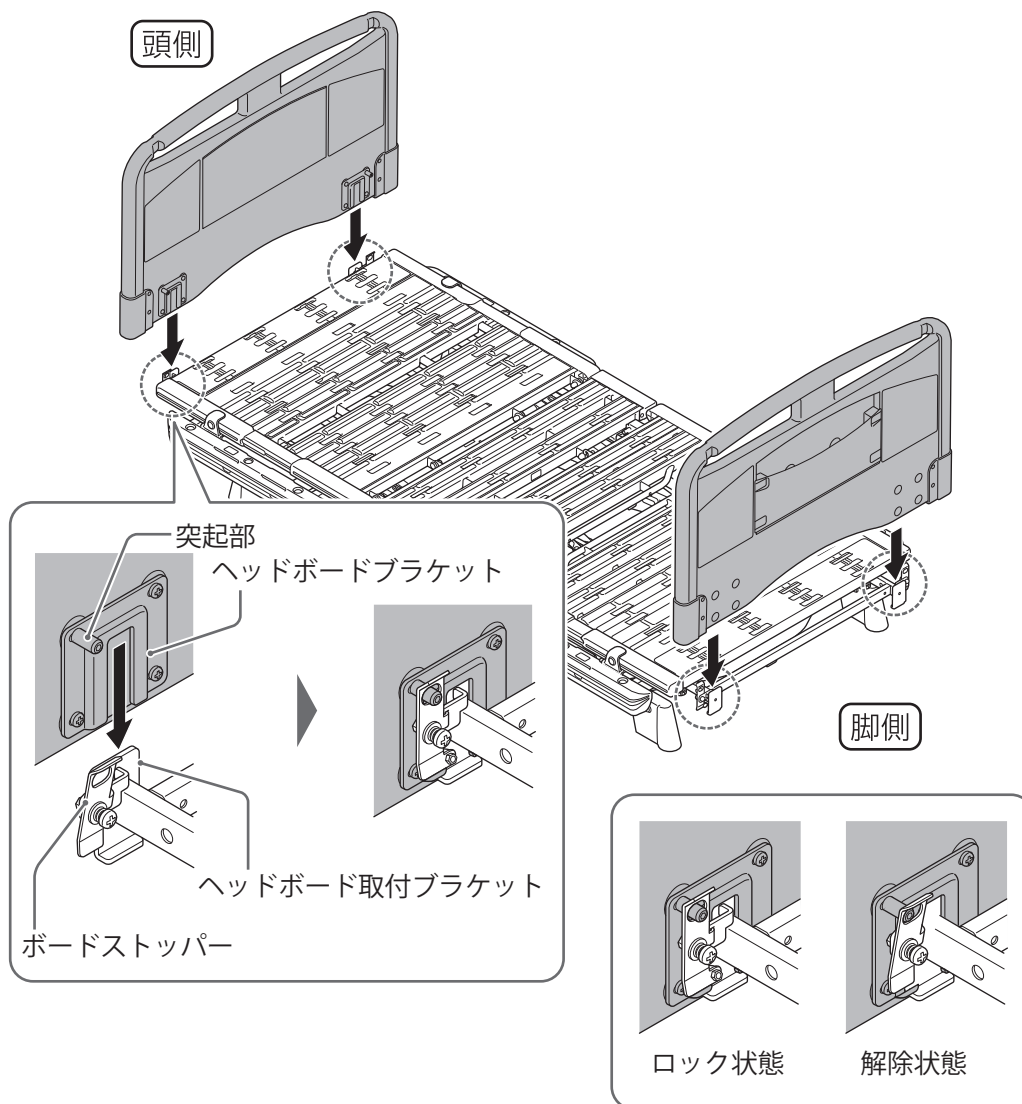
!	ベッドを移動するとき以外は側面側 2 か所以上のキャスターをロックしてください。 ロックが不十分ですとベッドが不意に動いて思わぬケガの原因となります。
!	ベッドを移動するときは電源プラグを必ず抜いてください。 電源コードを破損する原因となります。
!	ベッドを移動する場合は全てのキャスターをロック解除してください。床に大きな段差があるところは避けて、平らなところを通ってください。ベッドの周りに障害物がないことを確認してください。 キャスターやベッドの破損の原因となります。

ヘッドボードとフットボードの着脱方法

ヘッドボードとフットボードを取り付け / 取り外しできます。

■ 取り付け

1. ヘッドボードのヘッドボードブラケットのすきまにベッド側のヘッドボード取付ブラケットを差し込む
2. ボードストッパーを操作し、ロック状態にする
ボードを取り付けた際に自動でロックされます。
ボードストッパーが突起部に確実に掛かっていることを確認してください。
3. フットボードも手順 1 と 2 と同様の方法で取り付ける



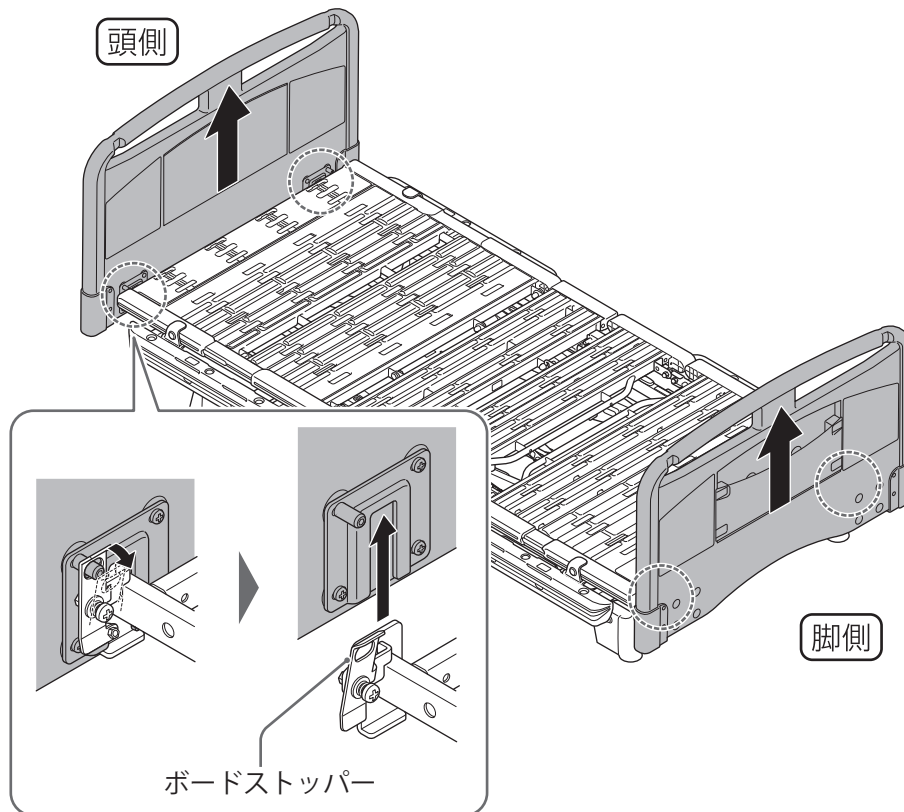
注意

ロックがかかっていることを確実に確認してください。
意図せずにボードが外れ、転倒・転落によりケガをする
おそれがあります。



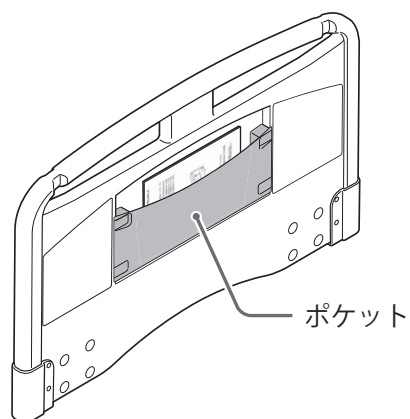
■ 取り外し

1. ヘッドボードを固定している左右2か所のボードストッパーを図の矢印の方向に倒し、解除状態にしてヘッドボードをメインフレームから抜き取る
2. フットボードも手順1と同様の方法で取り外す



■ ポケットについて

型式によってはボードにポケットがついていることがあります。
A4 サイズ程度の冊子などを横向きに収納できます。



注意

引っ張たり、無理な力をポケットにかけないでください。
意図せずにポケットが外れ、転倒してケガをするおそれがあります。



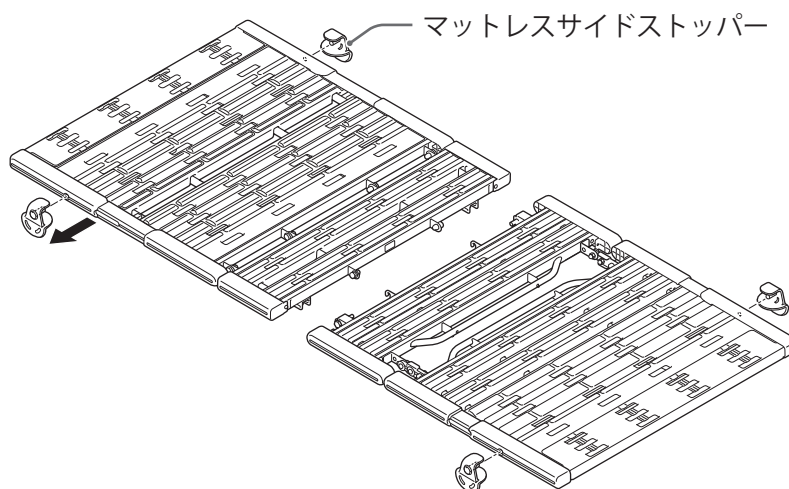
ボトムとフレームのサイズ調整

ご使用になるベッドサイズ（「R」または「S」）に合わせて、ベッドの長さを調整します。
出荷時は「R」に調整してあります。

「R」 標準サイズ（マットレスの長さ：195 cm）

「S」 ショートサイズ（マットレスの長さ：181 cm）

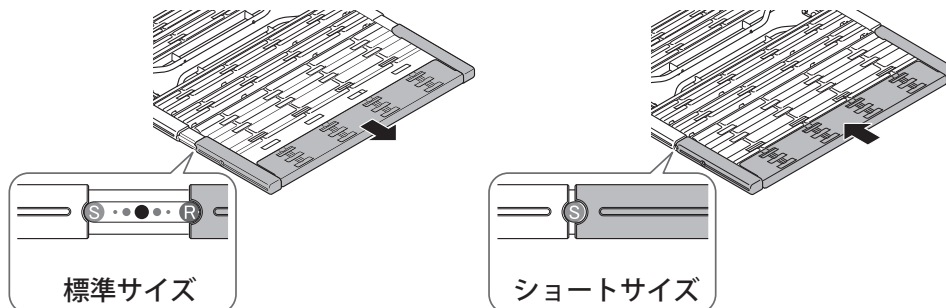
1. ボトムに装着されているマットレスサイドストッパー（4 か所）を取り外す



2. 頭側・脚側それぞれのボトム端を動かしてボトムの長さを選ぶ

ショートサイズから標準サイズに変更する場合：ボトム端を伸ばす

標準サイズからショートサイズに変更する場合：ボトム端を押し込む



※長さ 1910mm のマットレスを使用する場合は
脚側ボトムの長さを下記のイラストにあわせてください。



※この長さで使用する際、脚側ボトム以外のサイズ調整箇所は
必ずすべて「標準サイズ R」にしてください。

3. ボトムの長さを設定したら、手順1で外したマットレスサイドストッパー（4か所）を装着する

- ・ 出荷時、マットレスサイドストッパーは上下逆に装着されています。装着するときは、以下の図の向きになるようにしてください。

正しい向き（サイド4か所）



注意

すべてのマットレスストッパーを必ず正しく装着してください。
リクライニング機能使用時に思わぬケガや事故、破損の原因となります。



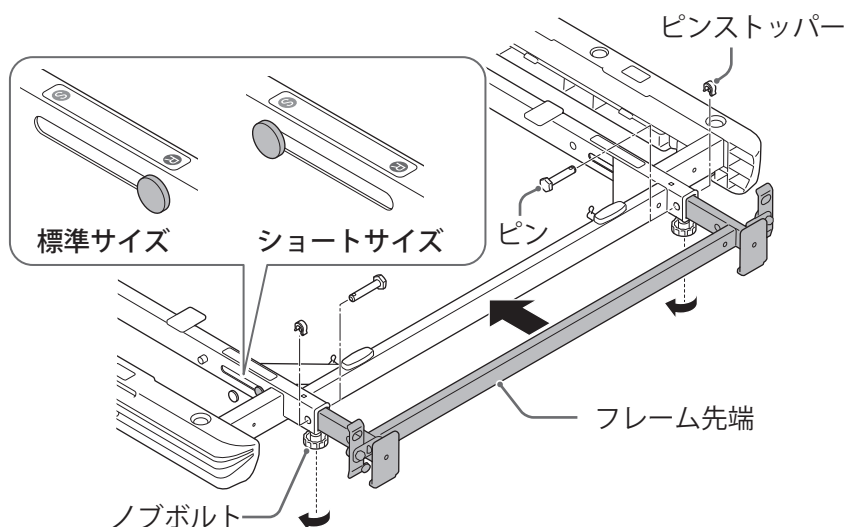
4. フレームの頭側・脚側の裏にあるノブボルトをゆるめる（それぞれ2か所）

5. ピンストッパーを外してピンを引き抜く（それぞれ2か所）

6. 頭側・脚側それぞれのフレーム先端を動かしてフレームの長さを選ぶ

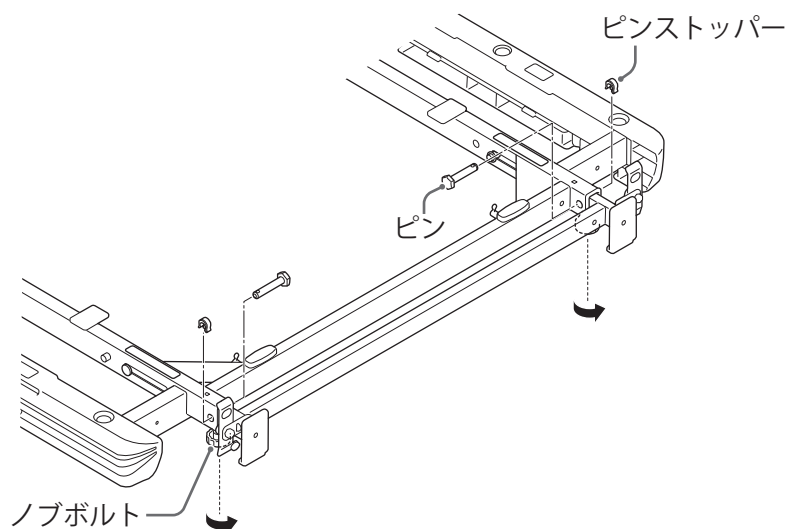
標準サイズで使用する場合：フレームを伸ばす

ショートサイズで使用する場合：フレームを押し込む



7. フレームの長さを設定したら、手順5で外したピンを差し込み、ピンストッパーで止める

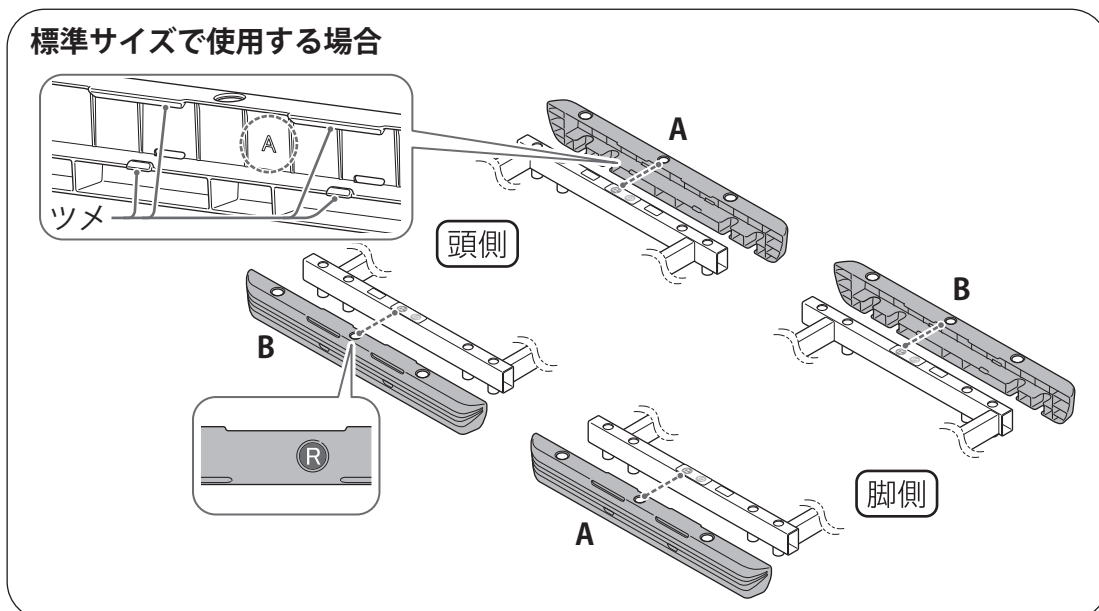
8. ノブボルトを締め、しっかりと固定する（頭側・脚側それぞれ2か所）

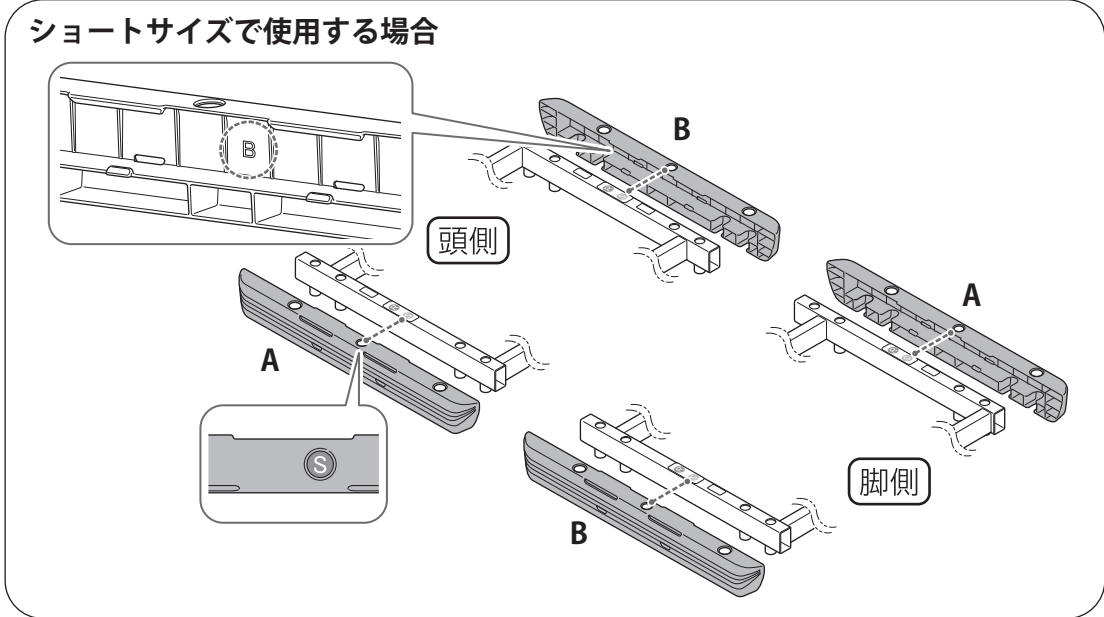


 警告	ボトムとフレームの各部位の長さは必ず揃えて固定してください。（例：「R」で使用→すべての部位を「R」で固定する） 使用者が死亡・重篤なケガを負う可能性や、思わぬ故障の原因となります。	
---	---	---

9. サイドフレームカバーを外し、ベッドサイズに合わせて装着し直す

頭側・脚側それぞれの前後または左右のカバーを入れ替えることで対応するサイズが変更できます。カバー内側の中央に組み合わせを示す刻印があるので、以下の図を参考にして装着してください。



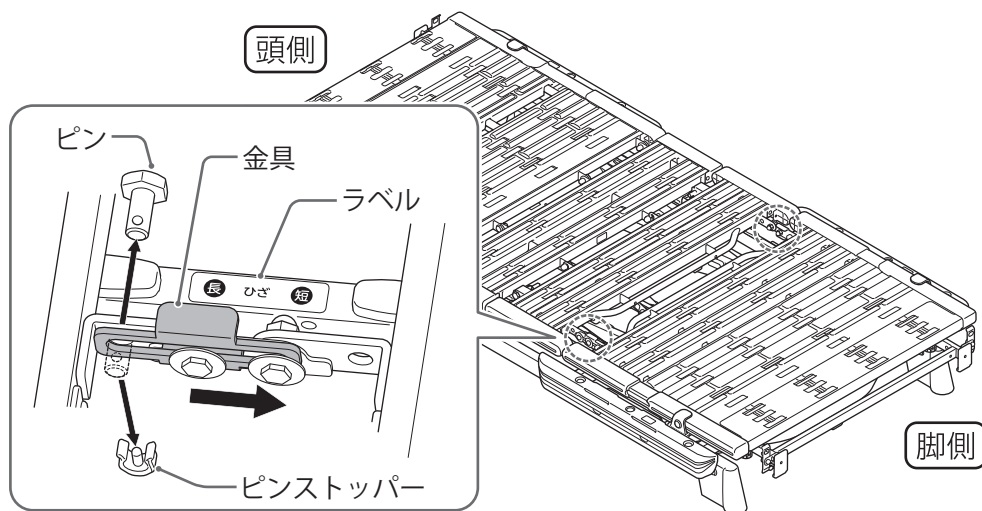


- ベッドサイズに合わせて、必ずサイドフレームカバーを入れ替えてください。思わぬケガや事故、故障の原因となります。

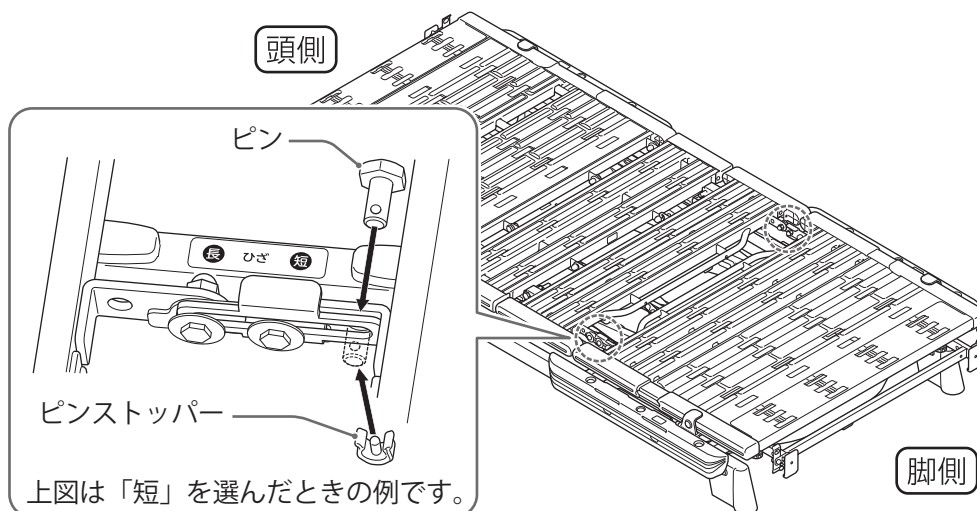
 警告	サイドレール・グリップを使用する際は、ベッドサイズに合わせたサイドフレームカバーを装着した状態で差し込んでください。 使用者が死亡・重篤なケガを負う可能性や、思わぬ破損、故障の原因となります。 ベッドサイズに適合した、指定のサイドレール・グリップを使用してください。 使用者が死亡・重篤なケガを負う可能性や、思わぬ破損、故障の原因となります。	
--	---	---

脚上げ位置の変更

1. ボトムの脚上げ稼働位置のピNSTOPパーを外し、ピンを引き抜く
2. 利用者の体格に合わせ、貼付されているラベルを目安にして利用したい方向へ金具をスライドする



3. スライド方向と同方向にピンを差し込み、ピNSTOPパーを装着する



注意

脚上げ稼働位置の変更の際は必ず左右同じ設定にしてください。
ベッド破損の原因になります。



ベッドの分解手順

⚠ 注意

	床の材質によっては、分解時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物等を敷いて床面の保護を行ってください。
	分解の際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。
	分解を行う前に、「安全のために必ずお守りください」、「各部の名称」、「部品の確認」、「ベッドの組み立て手順」をよく読んでおいてください。
	分解の際には、部品の上にのらないでください。 部品の変形や破損の原因となります。

ベッドを分解するときは、以下の手順で行います。

分解の前に

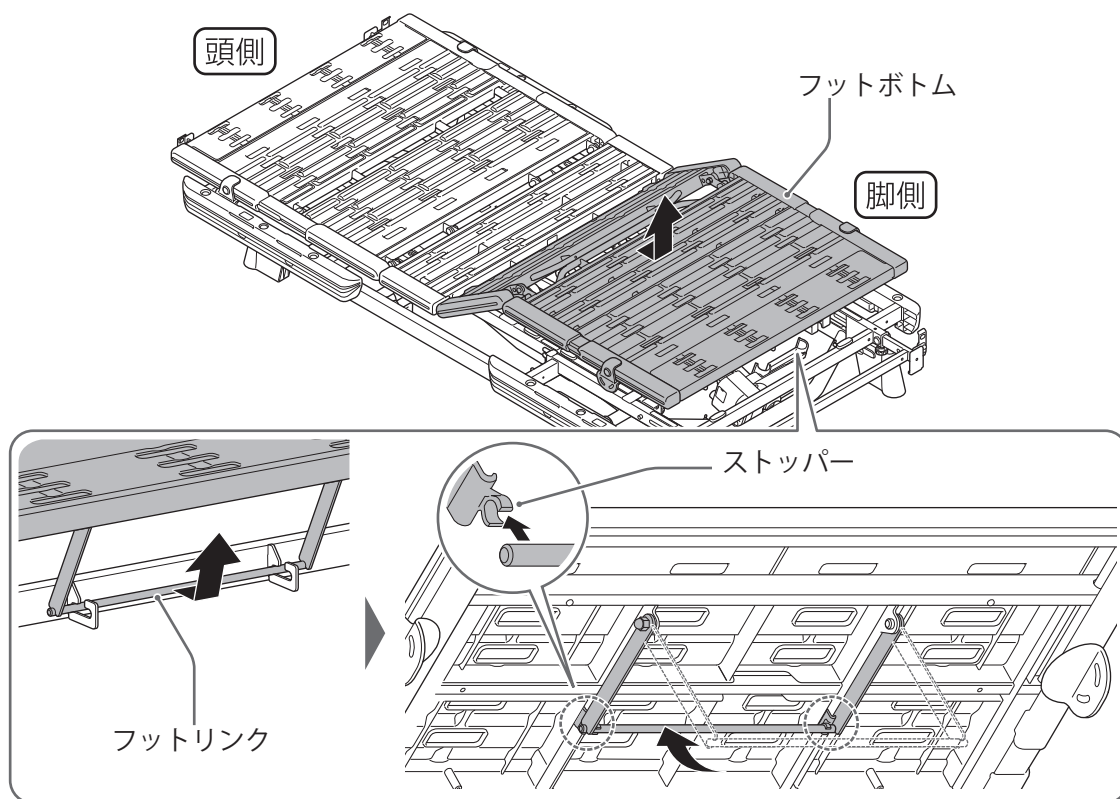
※開梱時は固定脚（もしくはキャスター）が別梱包のため取り付けられておりません。『ステップ6：レッグの取り外し』（P.32）は行う必要はありません。

1. 手元スイッチを操作して、ヘッドボトムとフットボトムを平らにする
2. 手元スイッチを操作して、ベッドを一番低い位置にする
3. 電源プラグをコンセントから抜く

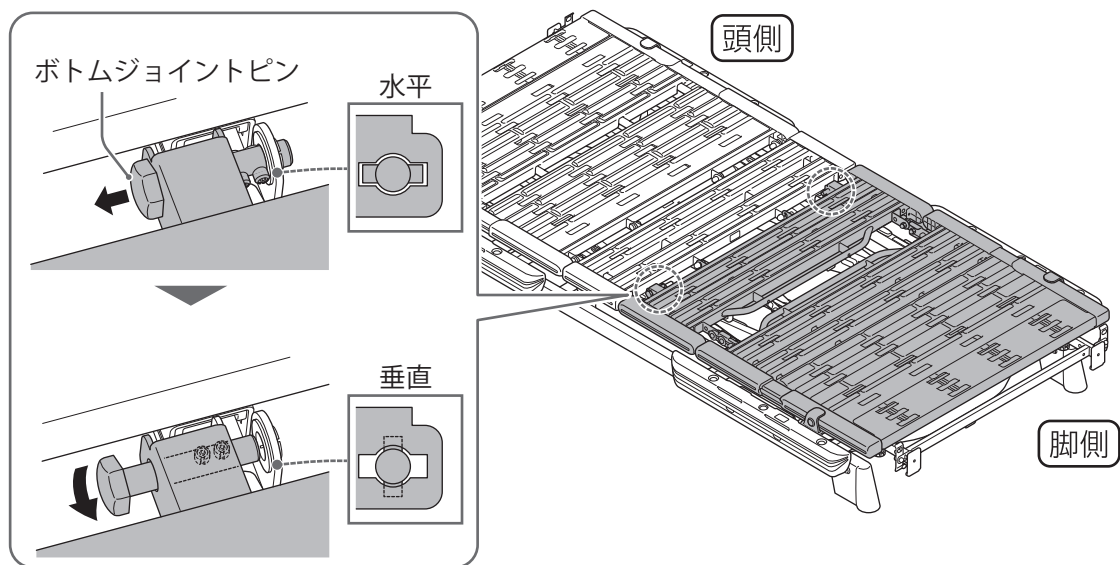
フレームの分解

ステップ1：ボトムを取り外し

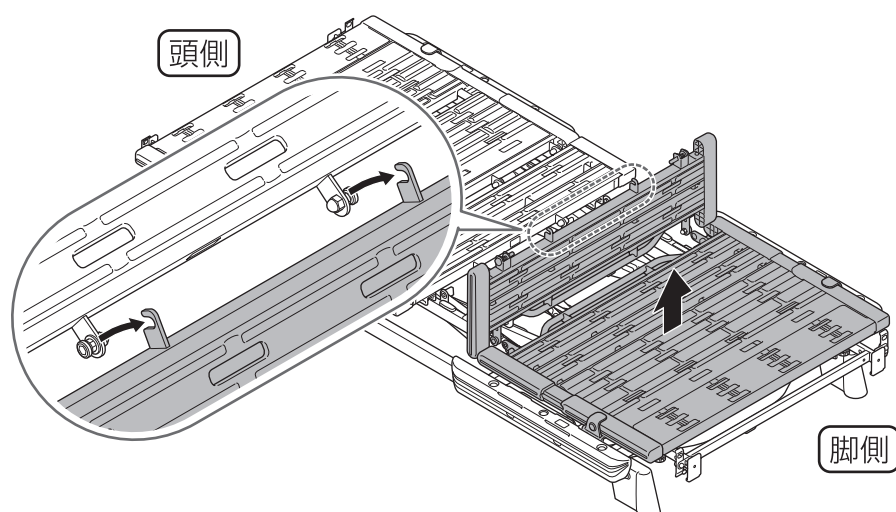
1. フットボトムの継ぎ目を持ち上げ、フットリンクをフックから外す
外したフットリンクはボトム裏のストッパーに固定してください。



2. ボトムジョイントピンをガイドが水平になるように回してから引き出す (2 か所)
3. 引き出し切ったところでガイドが垂直になるようにボトムジョイントピンを回す
ボトムジョイントピンが抜けた状態で固定されます。

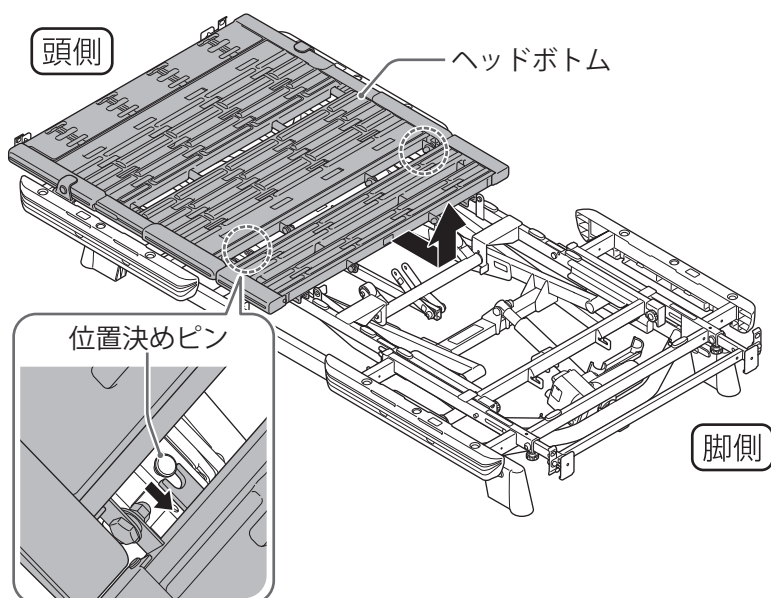


4. フットボトムを持ち上げて、フレームのミゾからフットボトムを取り外す



5. ヘッドボトムを脚側にスライドし、位置決めピンから外す

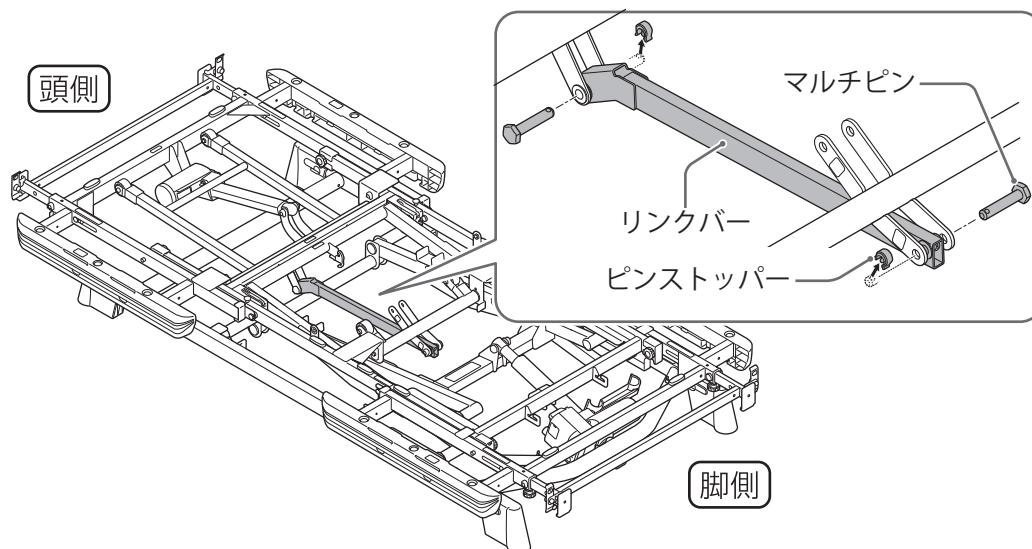
6. 脚側からヘッドボトムを持ち上げ、フレームから取り外す



ステップ2：リンクバーの取り外し（2 モーターのみ）

出荷時、リンクバーは別梱包です。マルチピンはフレームに付属しています。

1. ピンストッパーを外し、マルチピンを引き抜く（2 か所）
2. リンクバーを取り外す



- ・ パーツの紛失を防ぐため、外したピンストッパーとマルチピンは、フレーム側の元の位置に付け直してください。

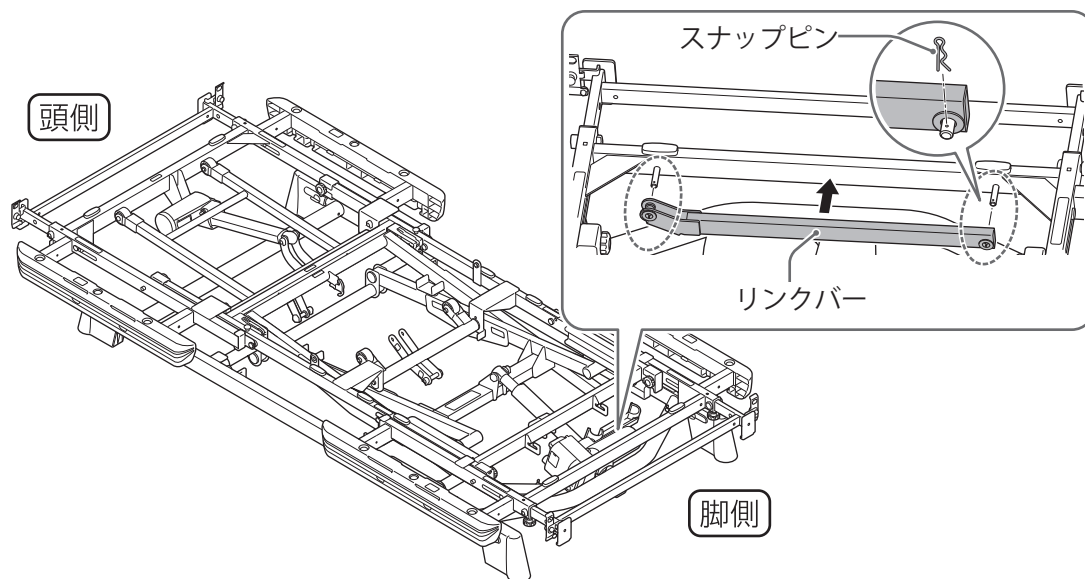


注意

脚側を外す際、リンクバーを床に落とさないように気を付けてください。
床を傷つけるおそれがあります。



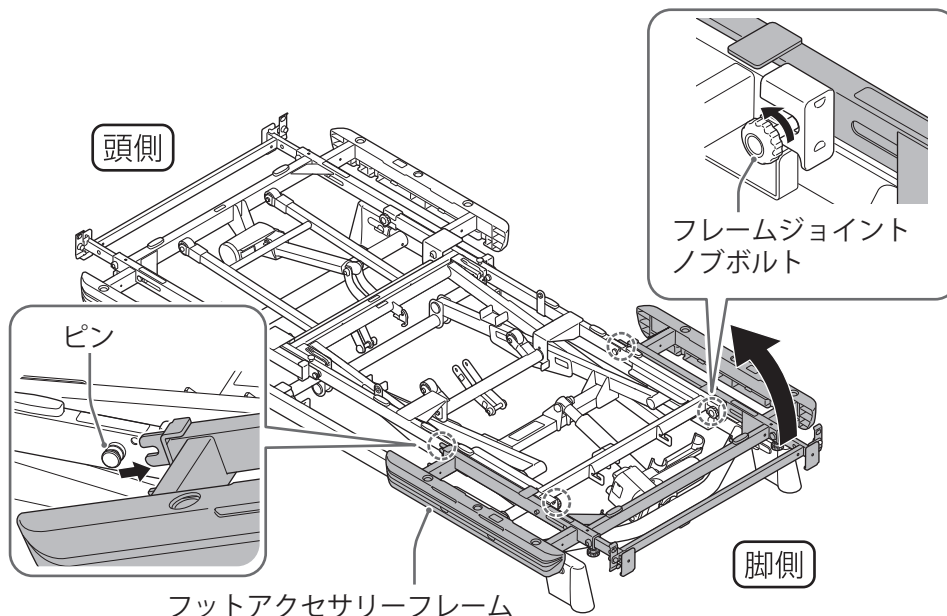
3. 取り外したリンクバーを保管位置に差し込み、スナップピン（出荷時は 2M ヨウレンケツバーに入っています）で固定する



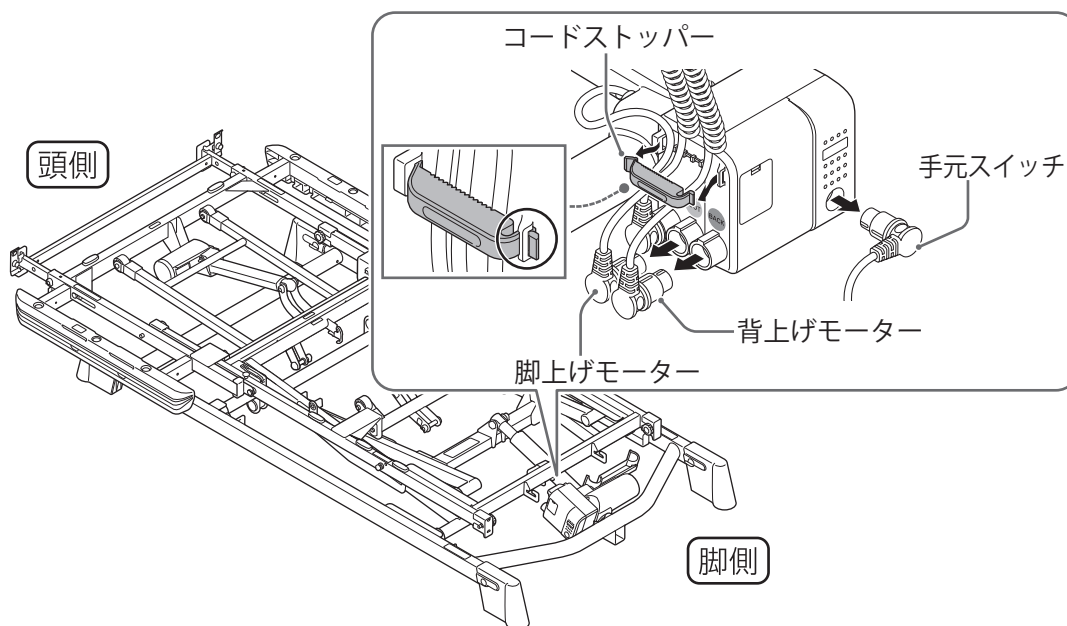
- ・ パーツの紛失を防ぐため、リンクバーは必ず保管位置に固定してください。

ステップ3：アクセサリフレームの取り外し

1. フットアクセサリフレームのフレームジョイントノブボルト（2か所）をゆるめる
2. 脚側からフットアクセサリフレームを持ち上げ、軽く手前に引いてピンからミゾを外して、フットアクセサリフレームを取り外す

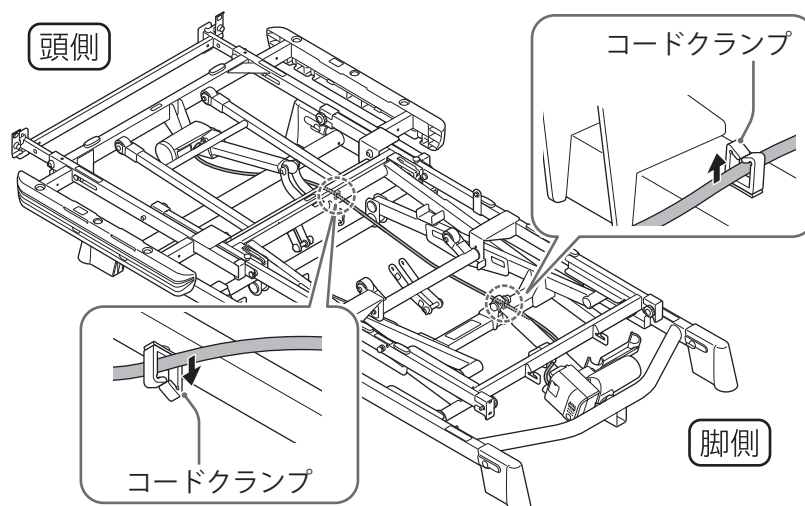


3. コードストッパーの端にあるツメを下図のように外して、コントロールボックスからコードストッパーを取り外す
4. コントロールボックスから背上げモーターと脚上げモーター（3モーターのみ）、手元スイッチの端子を抜く



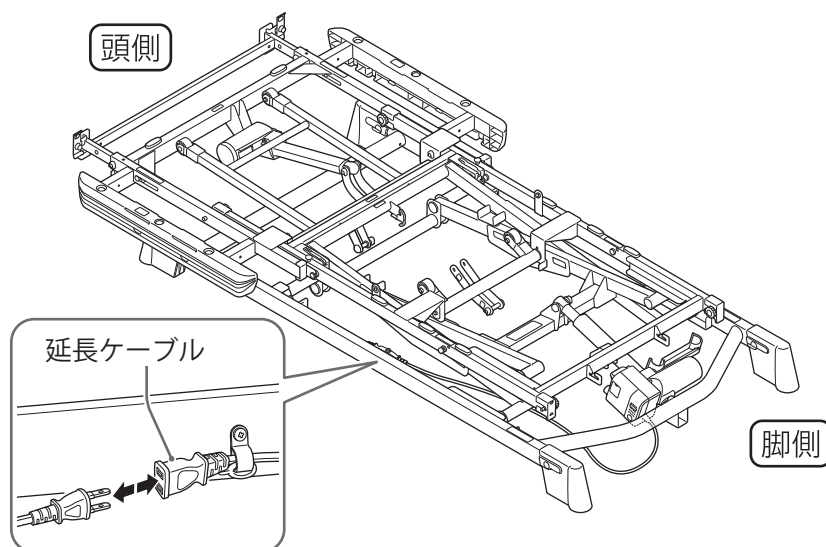
- ・ パーツの紛失を防ぐため、取り外したコードストッパーは元の位置に取り付けてください。

5. 背上げモーターのコードをフレームのコードクランプ(2 か所) から外す



- ・ 外したあとのコードが絡んだり、引っかかったりしないよう注意してください。思わぬ破損や故障の原因となります。

6. 延長ケーブルとの接続を切り離す

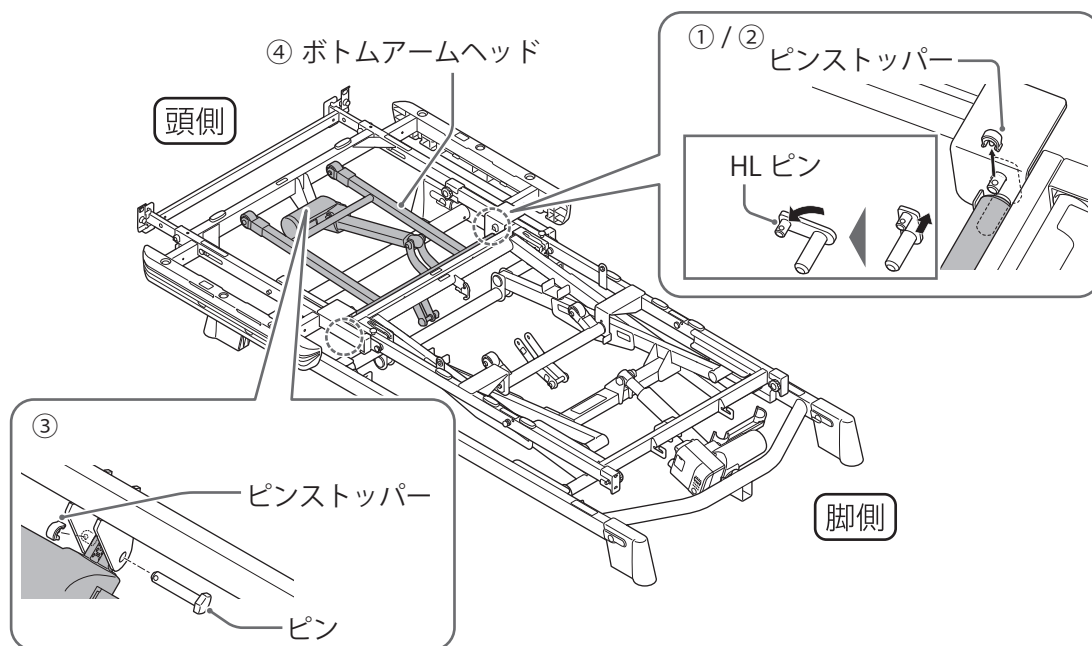


7. ボトムアームヘッドユニットを取り外す

外さない場合は、手順8に進む

- ・ ボトムアームヘッドユニットはヘッドアクセサリフレームから着脱が可能です。重い物を持ち上げることに不安がある場合は、ボトムアームヘッドユニットの取り外しをおすすめします。

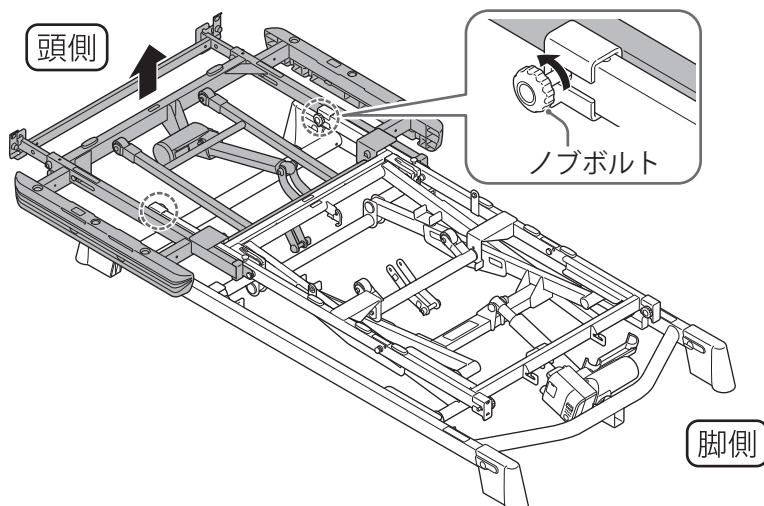
- ① ヘッドアクセサリフレームのピンストッパーを外す (2 か所)
- ② HL ピンを外側に引き、90 度回転させてから外す (2 か所)
- ③ モーター頭側のピンストッパーを外し、ピンを引き抜く
- ④ ボトムアームヘッドユニットを取り外す



- ・ パーツの紛失を防ぐため、外した HL ピンは、元の位置に付け直してください。

8. ヘッドアクセサリフレームのノブボルトをゆるめる

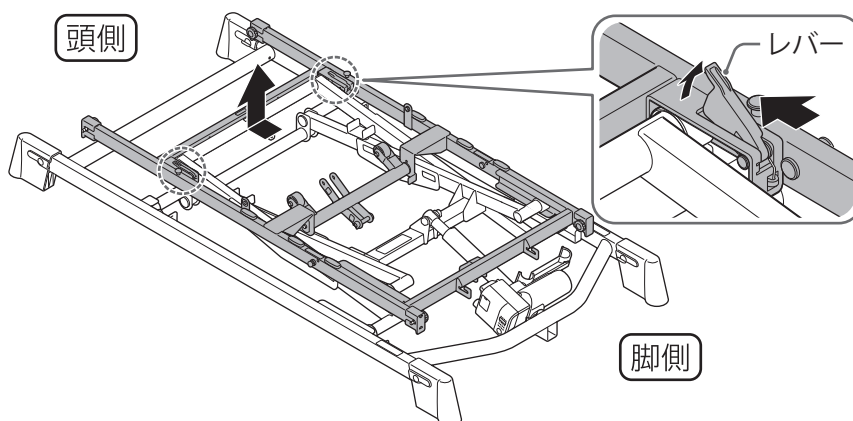
9. ヘッドアクセサリフレームを持ち上げて取り外す



(イラストはボトムアームヘッドユニットを外していない状態です。)

ステップ4：メインフレームの取り外し

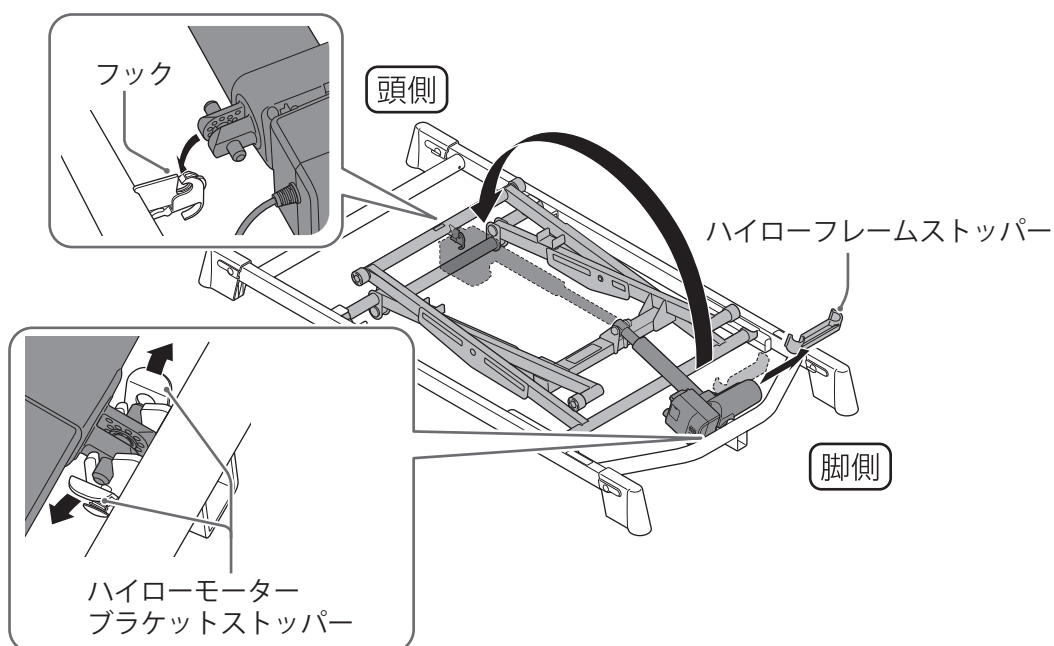
1. メインフレームのレバー（2 か所）を上げた状態にしたまま、メインフレームを頭側にスライドする
 - ・ レバーは外側から操作してください。思わぬケガの原因となります。
2. メインフレームを持ち上げて取り外す



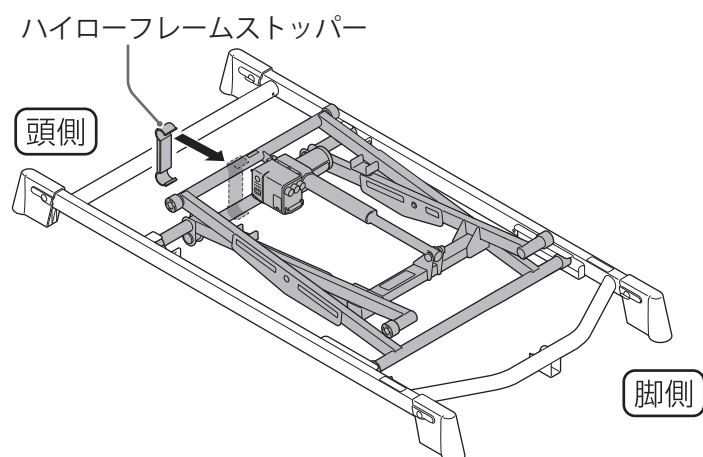
ステップ5：ハイローフレームの取り外し

ハイローモーターは着脱が可能です。モーターを装着したままでも分解・組み立て作業は可能ですが、重い物を持ち上げることに不安がある場合は、取り外しをおすすめします。詳しくは、「ハイローモーターの取り外し」(31 ページ)をご覧ください。

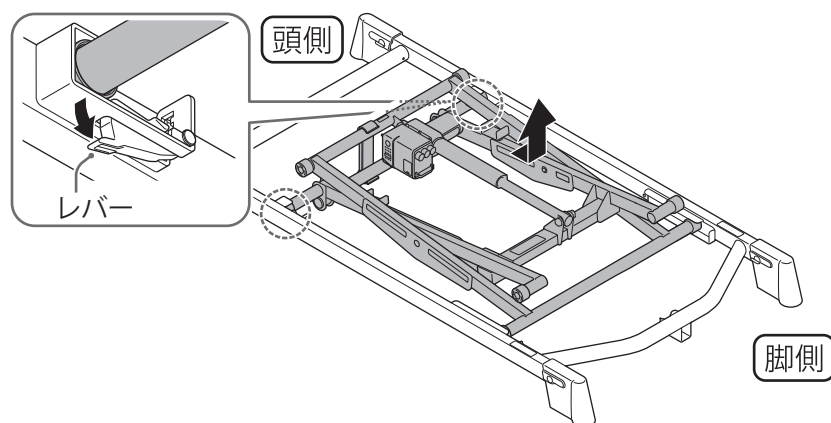
1. ハイローモーターブラケットストッパーを左右に開き、ハイローモーターを持ち上げる
2. モーターからハイローフレームストッパーを外す
3. モーターを頭側に倒して、位置を調整しながら頭側のフレームにあるフックにひっかける



4. 手順2で外したハイローフレームストッパーでハイローフレームを固定する



5. フレームの下からレバー（2か所）をおろしたまま脚側にスライドさせ、フレームを持ち上げて取り外す

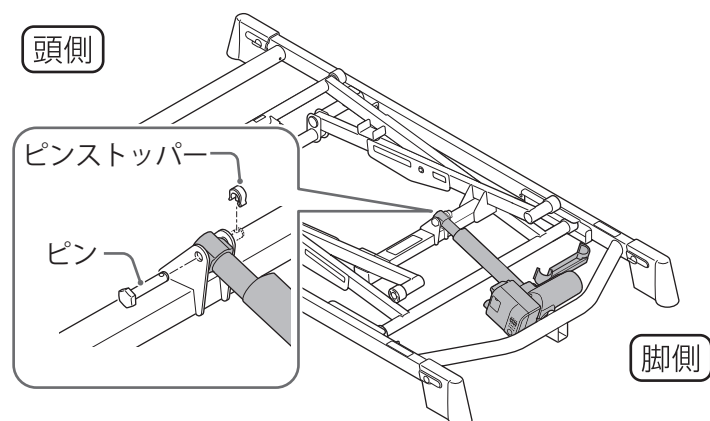


- ・ レバーは外側から操作してください。思わぬケガの原因となります。

■ ハイローモーターの取り外し

ハイローモーターを装着したままでも分解・組み立て作業は可能ですが、重い物を持ち上げることに不安がある場合は、取り外しをおすすめします。

1. 「ステップ5：ハイローフレームの取り外し」の手順2までを行う
2. 頭側のピンストッパーを外し、ピンを引き抜く

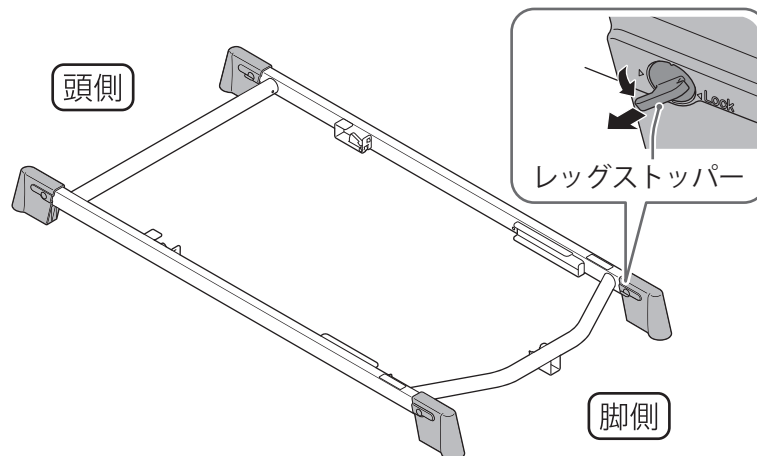


3. ハイローモーターを取り外す

ステップ 6：レッグの取り外し

レッグがついている場合は取り外すことが可能です。

1. レッグ内側のレッグストッパーを垂直になるまで回して、軽く引き抜く
2. レッグストッパーを反時計回りに 45 度回して、レッグを引き抜く



- パーツの紛失を防ぐため、レッグストッパーをゆるめたあとは 45 度回してください。レッグストッパーが抜ける可能性があります。

ベッドの組み立て手順

組み立ての前に

■ ベッドの設置位置

- ・ 組み立てを行う前に、「安全のために必ずお守りください」、「各部の名称」、「部品の確認」をお読みください。
- ・ ベッドへの乗り降りやベッドからの移動、また壁やコンセントの位置を考え、あらかじめベッドの頭側、脚側の方向および配置を決めておきます。頭側、脚側、側面は壁から5cm 以上空けるようにしてください。

注意

	床の材質によっては、組み立て時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物等を敷いて床面の保護を行ってください。
	組み立ての際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。
	組み立ての際には、部品の上にのらないでください。 部品の変形や破損の原因となります。

フレームの組み立て

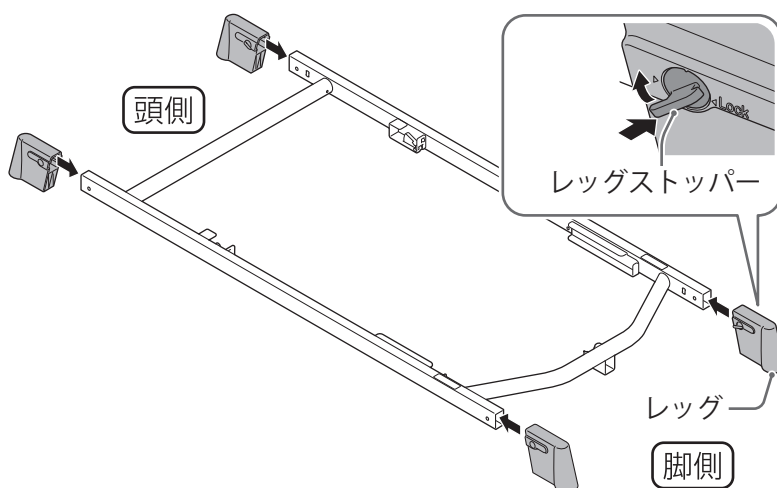
フレームの組み立ては、基本的には分解と逆の作業を行います。

ステップ1：脚部の取り付け

脚部は、固定脚とキャスターのふたつの種類があります。お使いの脚部に合わせて、以下の手順を行ってください。

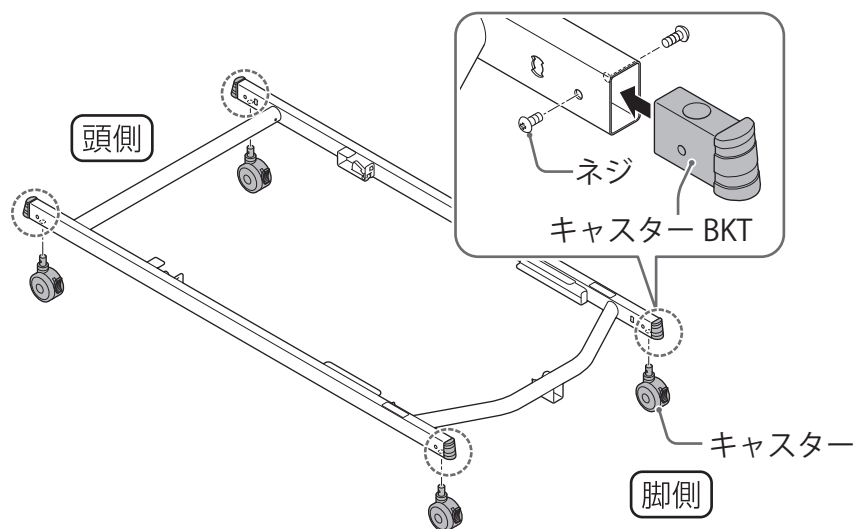
■ 固定脚の場合

1. レッグをベースフレームに差し込む
2. レッグ内側のレッグストッパーを垂直になるまで回して、押し込む
3. レッグストッパーを水平になるまで回す



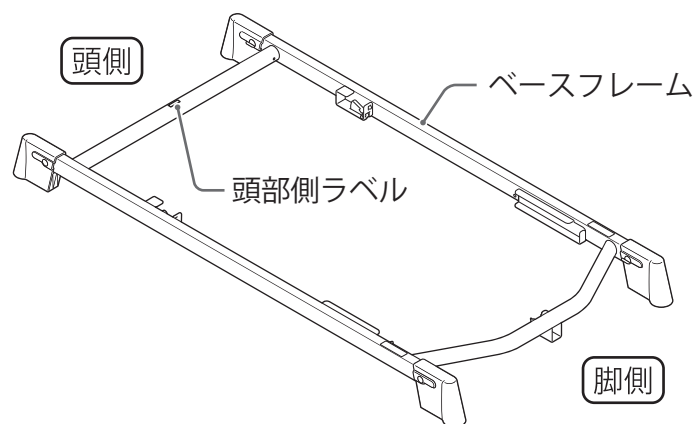
■ キャスターの場合

1. キャスター BKT をベースフレームの先端に差し込む
2. キャスターをベースフレームの下から差し込む
3. ベースフレームの穴位置に合わせて、外側と内側の2か所をネジ止める



ステップ2：ベースフレームの設置

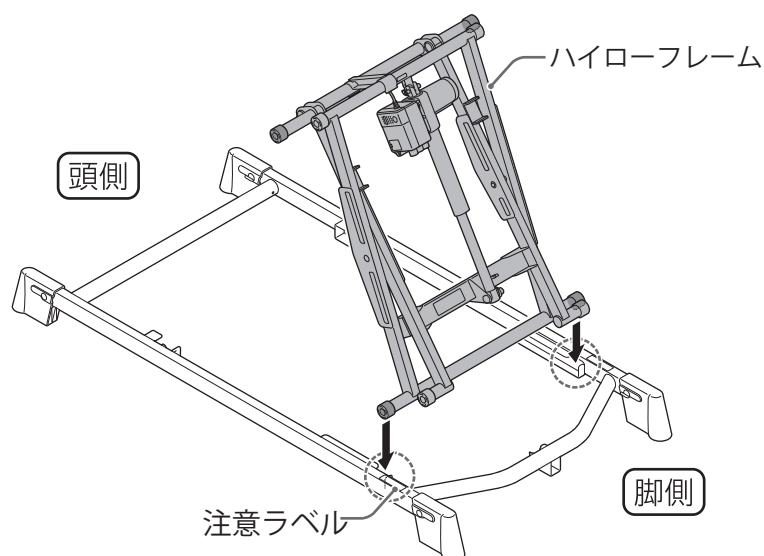
1. ベッドの設置位置を決める
2. 頭部側ラベルが頭側になる向きでベースフレームを置く



- 壁などに近づけすぎないようにしてください。ベッドを組み立てられなくなる場合があります。

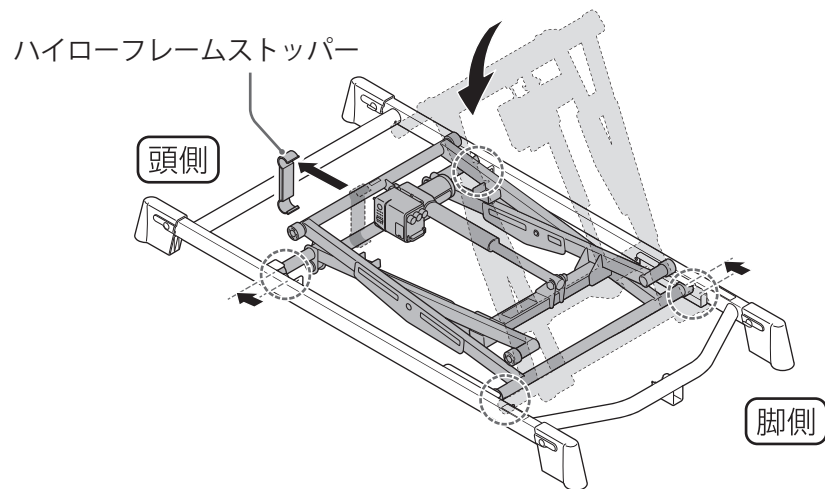
ステップ3：ハイローフレームの取り付け

1. ベースフレームの脚側にある注意ラベルを目印にして、くぼみにハイローフレームを置く

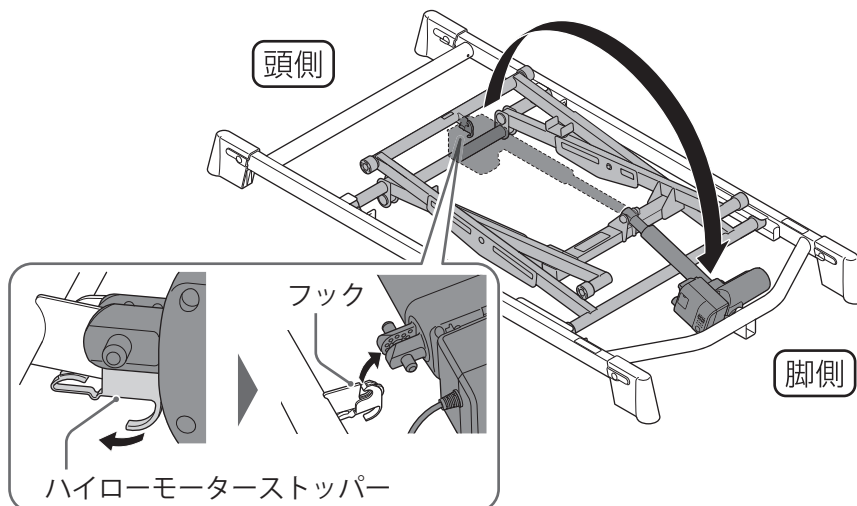


フレームの組み立て

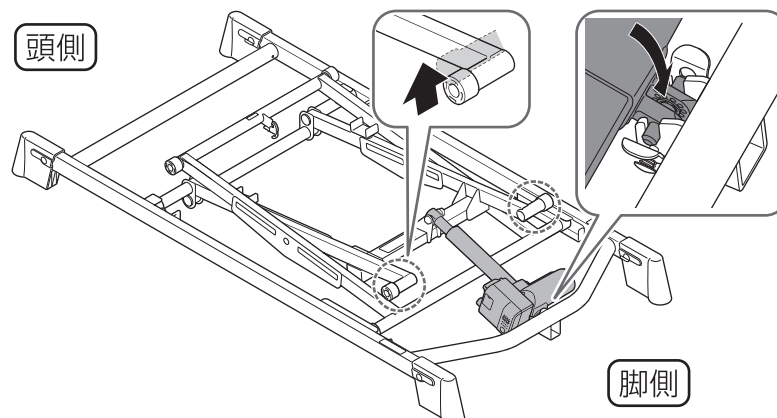
2. ハイローフレームを倒し、頭側に「カチッ」と音がするまでスライドさせる
3. ハイローフレームを固定しているハイローフレームストッパーを外す



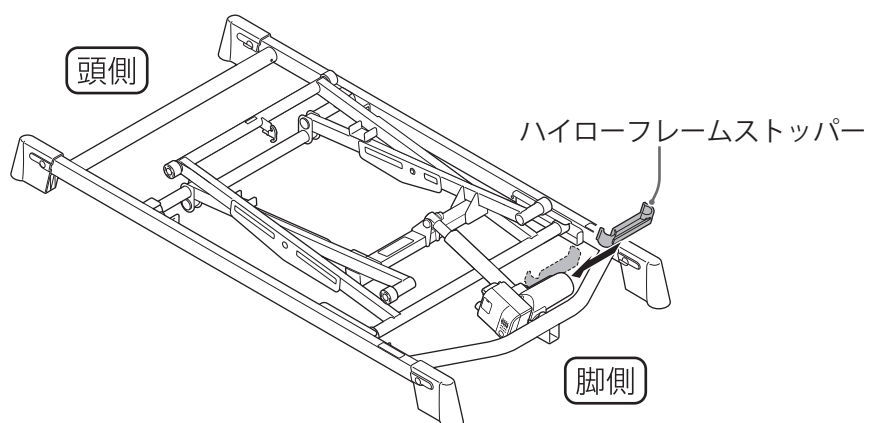
4. ハイローモーター頭側のハイローモーターストッパーを下から頭側に向かって引きながら、ハイローモーターをフックから外す
5. ハイローモーターを脚側に倒す



6. フレームの頭側のハイローモーターブラケットストッパーにはめるようにモーターを載せる
7. ハイローフレームの上側のフレームを持ち、軽く持ち上げる
ハイローモーターがフックに「カチッ」と音をたててはまります。

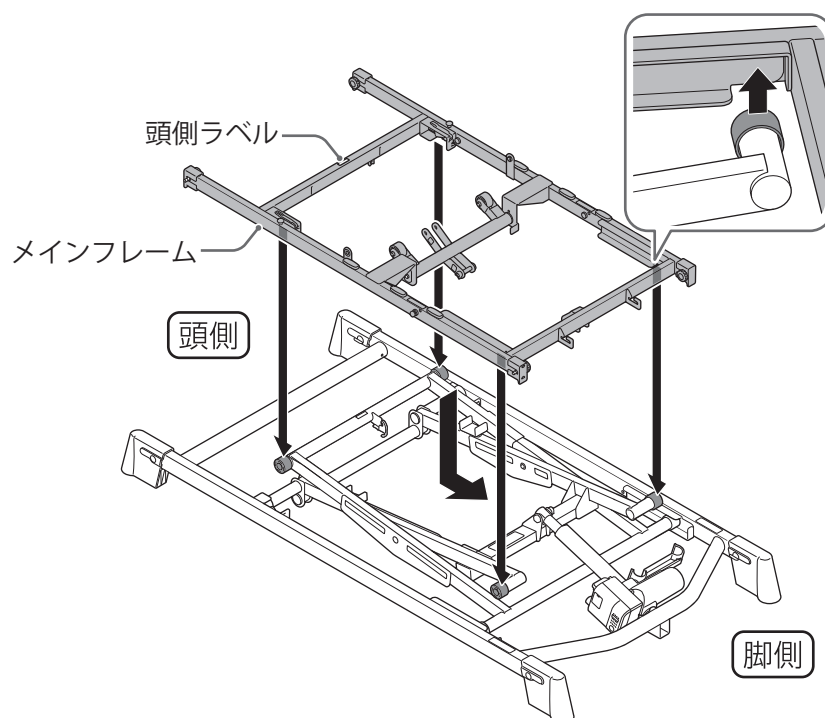


8. ハイローフレームストッパーをハイローモーターの保管位置に固定する



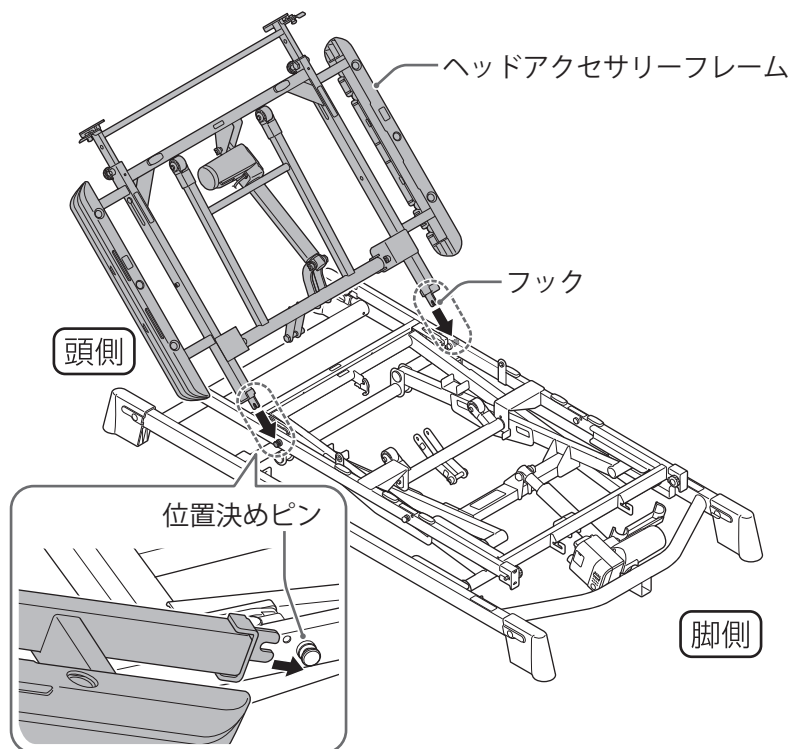
ステップ4：メインフレームの取り付け

1. 頭側ラベルでメインフレームの向きを確認する
2. メインフレーム脚側の裏にあるくぼみに、ハイローフレームがはまるように置く
3. メインフレームを脚側にスライドして取り付ける

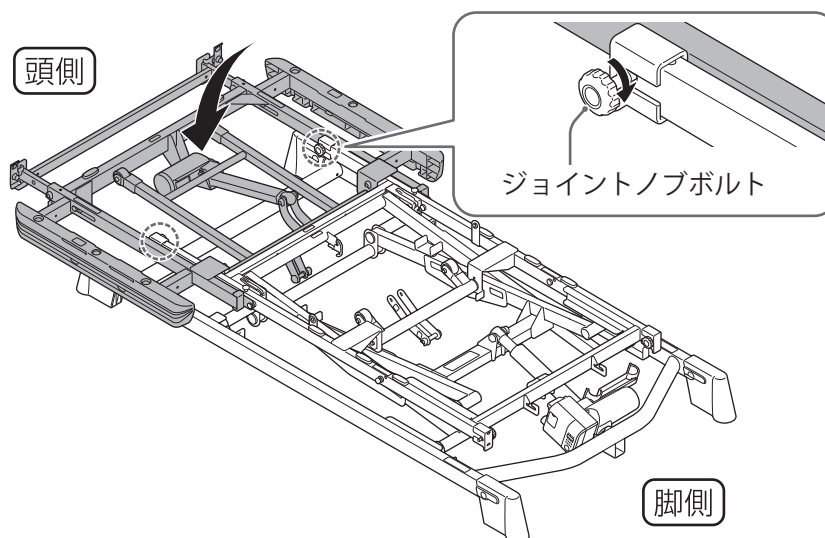


ステップ5：ヘッドアクセサリフレームの取り付け

1. ヘッドアクセサリフレームのフックを位置決めピンに合わせる

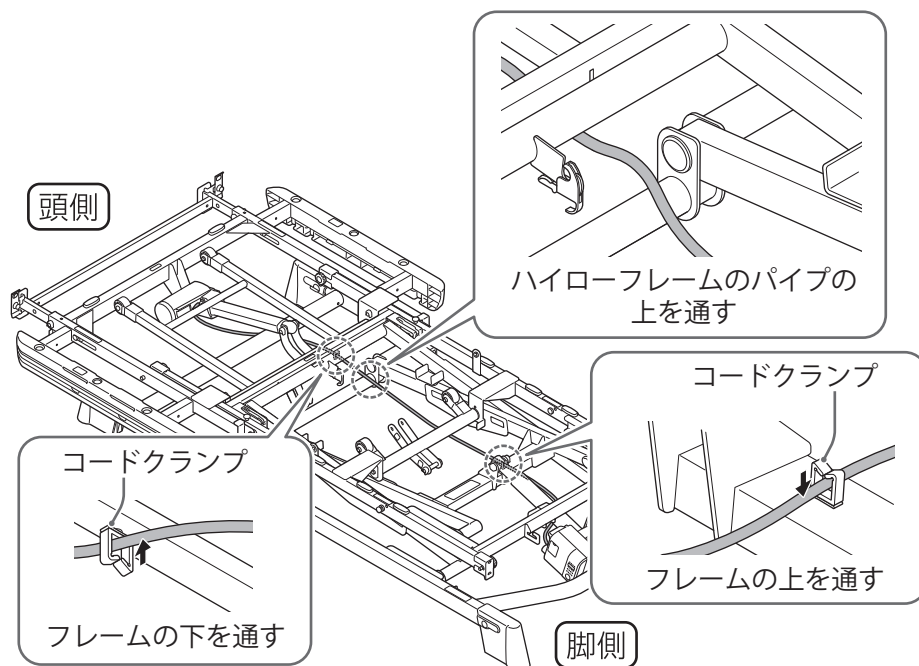


2. ヘッドアクセサリフレームを頭側に倒し、ジョイントノブボルトをしっかりと締めて固定する（2 か所）



- ヘッドアクセサリフレームのフックが位置決めピンに正しく取り付けられていることを確認してください。思わぬ事故やケガの原因となります。

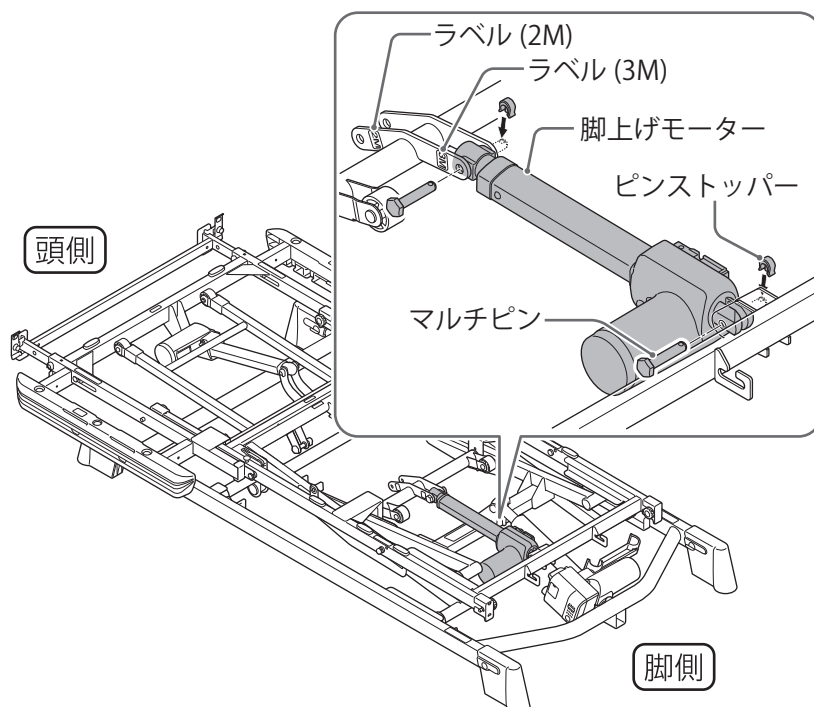
3. 背上げモーターのコードをフレーム内を通して、コードクランプ (2 か所) に取り付ける



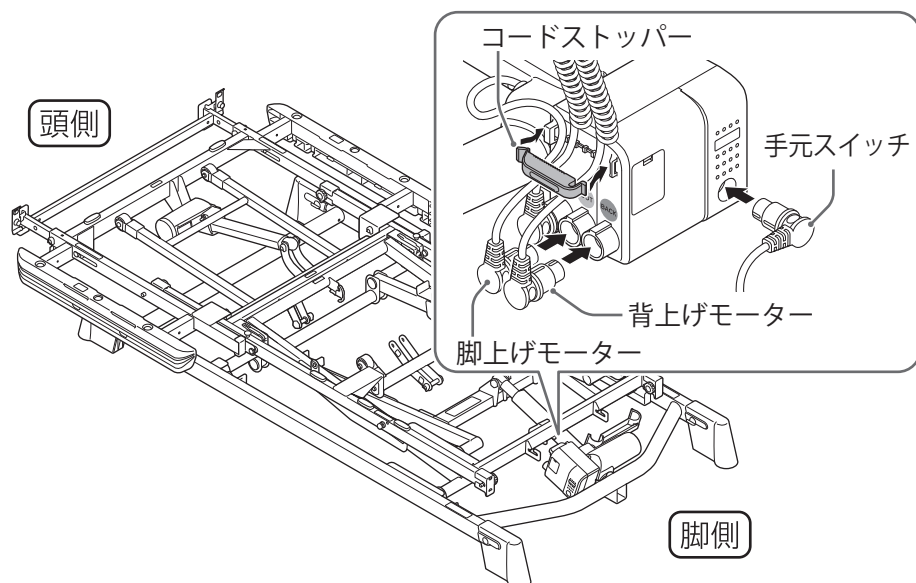
4. 2 モーターの場合は、手順 5 に進む

3 モーターの場合は、以下の手順を行う

ハイローフレームを脚側から確認した際に右手側に貼られているラベルを目印にして、穴の位置を調整し、ピンストッパー (タイプ 2) とマルチピンを使って脚上げモーターを装着する (3 モーターのみ)

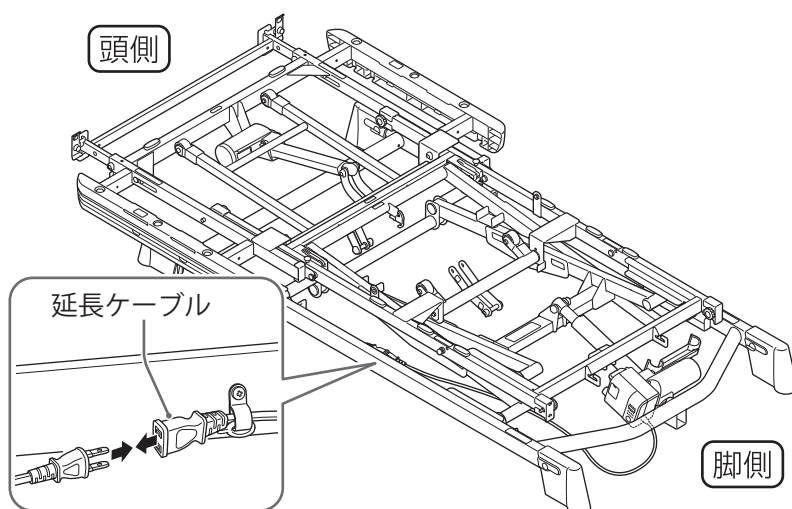


5. コントロールボックスに背上げモーターと脚上げモーター（3 モーターのみ）、手元スイッチの端子を差し込み、コードストッパーで固定する

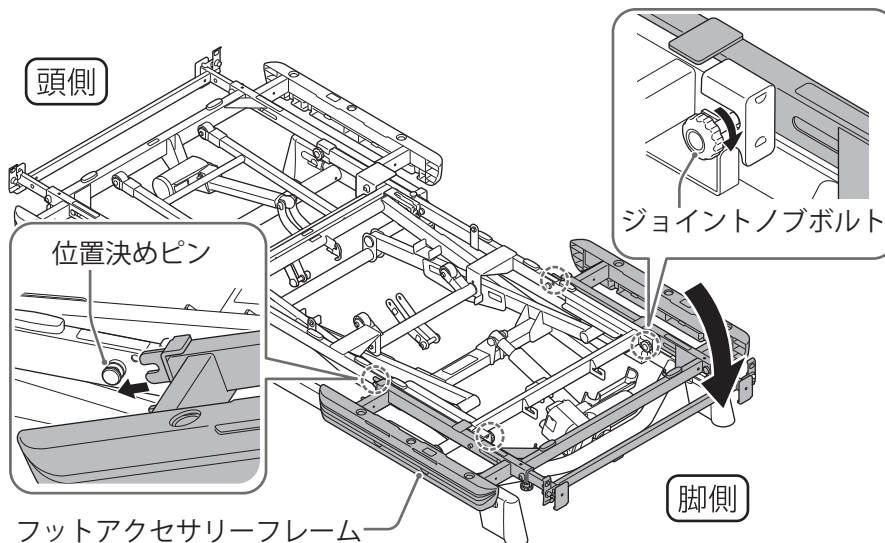


- ・ 差し込み位置を間違えると、故障や破損、事故の原因になります。

6. 延長ケーブルと接続する



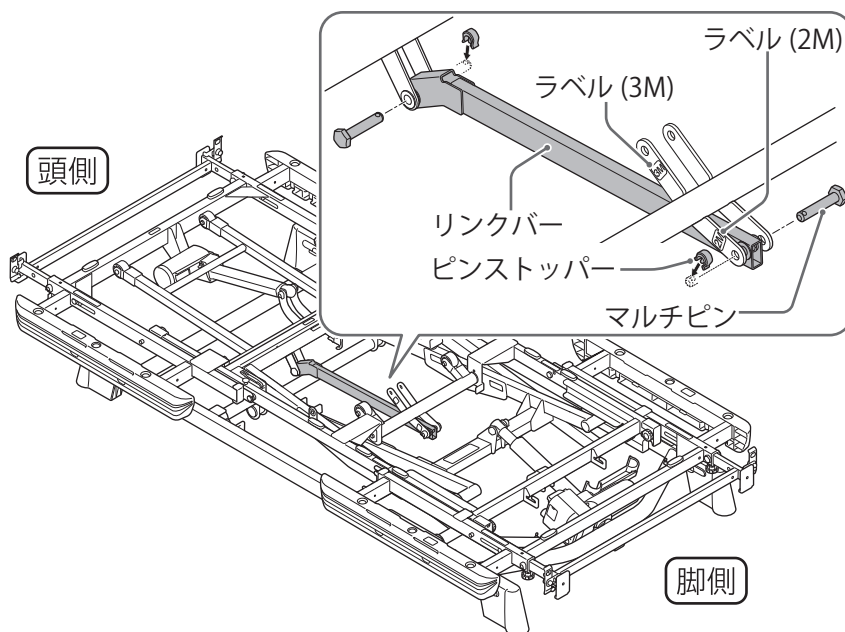
7. フットアクセサリーフレームのフックを位置決めピンに合わせ、フレームをおろす
8. ジョイントノブボルトをしっかりと締めて固定する（2 か所）



- ・ フットアクセサリーフレームのフックが位置決めピンに正しく取り付けられていることを確認してください。思わぬ事故やケガの原因となります。

■ 2 モーターの場合

1. ハイローフレームを脚側から確認した際に右手側に貼られているラベルを目印にして、穴の位置を調整し、ピンストッパー（タイプ2）とマルチピンを使ってリンクバーを装着する



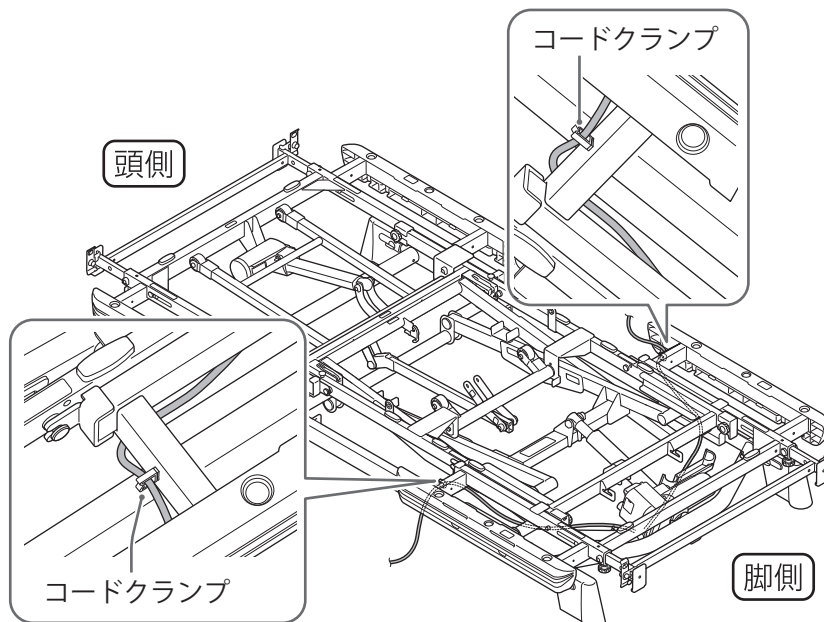
ステップ6：ボトム・フレームのサイズ調整

詳しくは、「ボトムとフレームのサイズ調整」（18 ページ）をご覧ください。

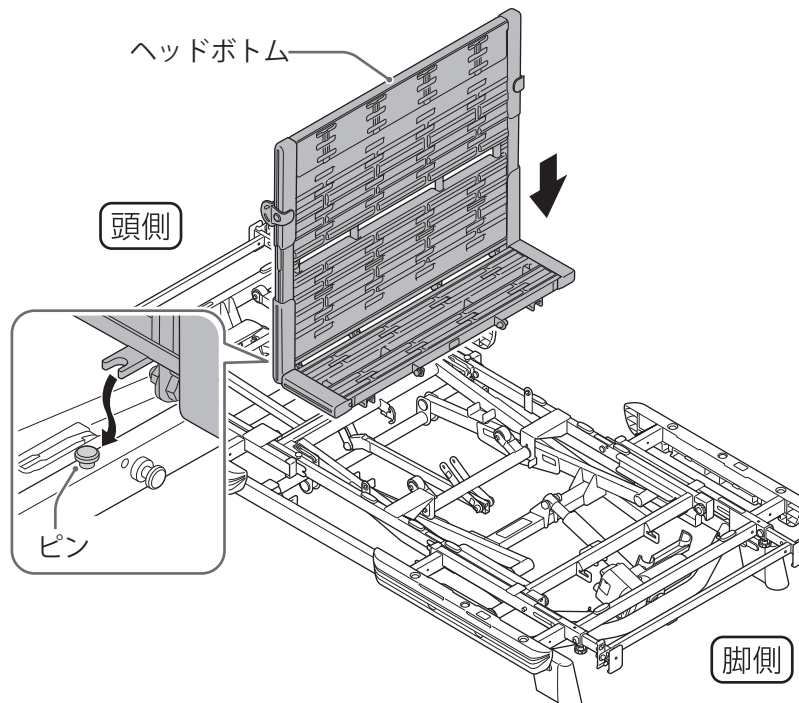
ステップ7：ボトムの装着

1. 手元スイッチを左右どちらから出すかを決め、下記のイラストを参考にして配線する

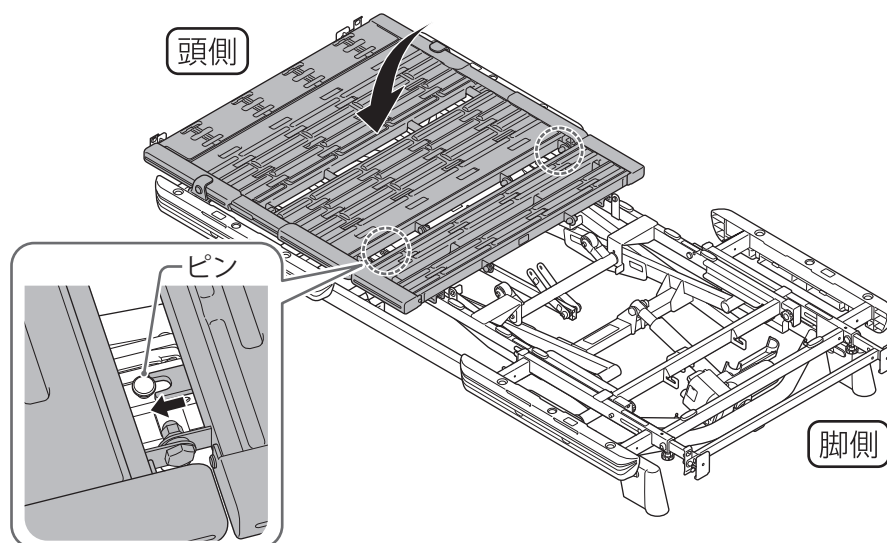
配線時、必ずコードクランプに通して止めてください。



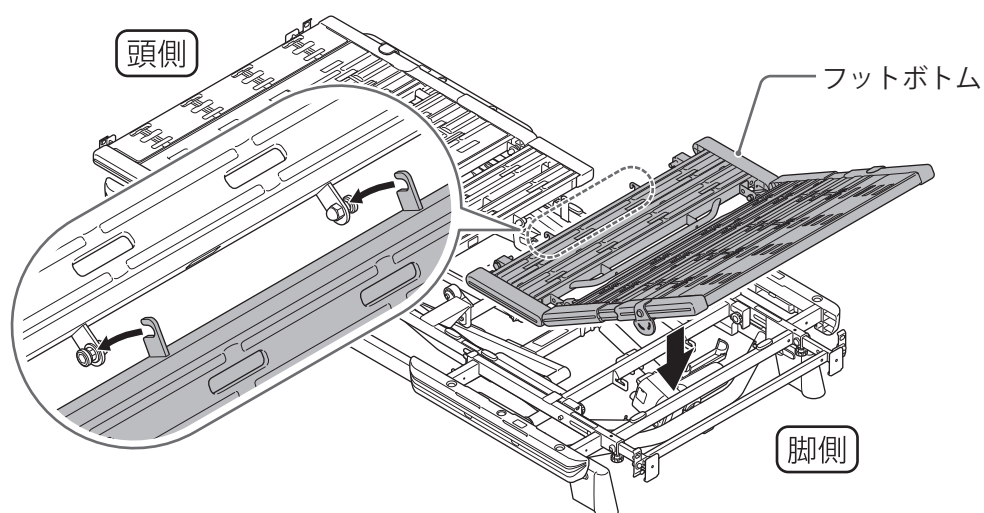
2. ヘッドボトムをフレームに載せ、脚側裏のミゾをピンに合わせてはめこむ



3. ミゾがピンにはまるように確認しながらヘッドボトムを頭側にスライドする



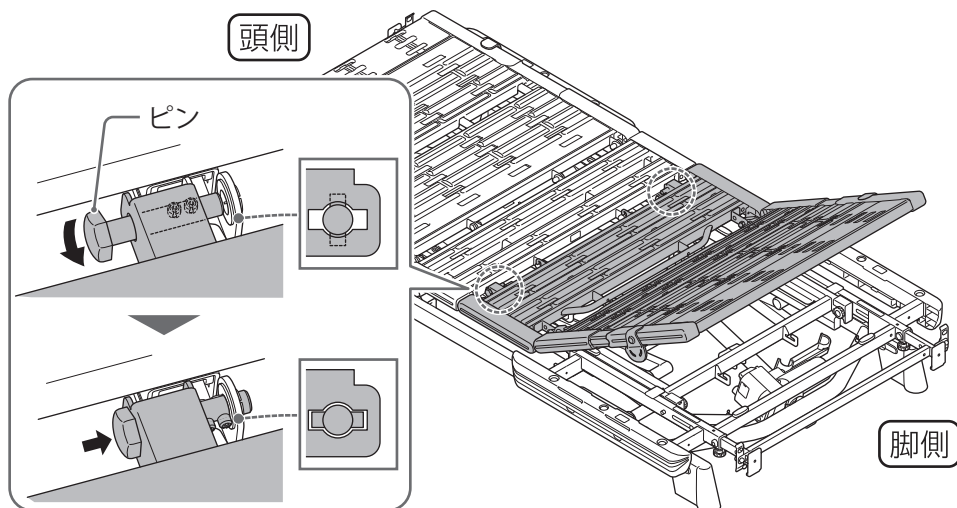
4. フットボトムのフックをヘッドボトムとの連結部分にひっかけ、フットボトムをフレームにおろす



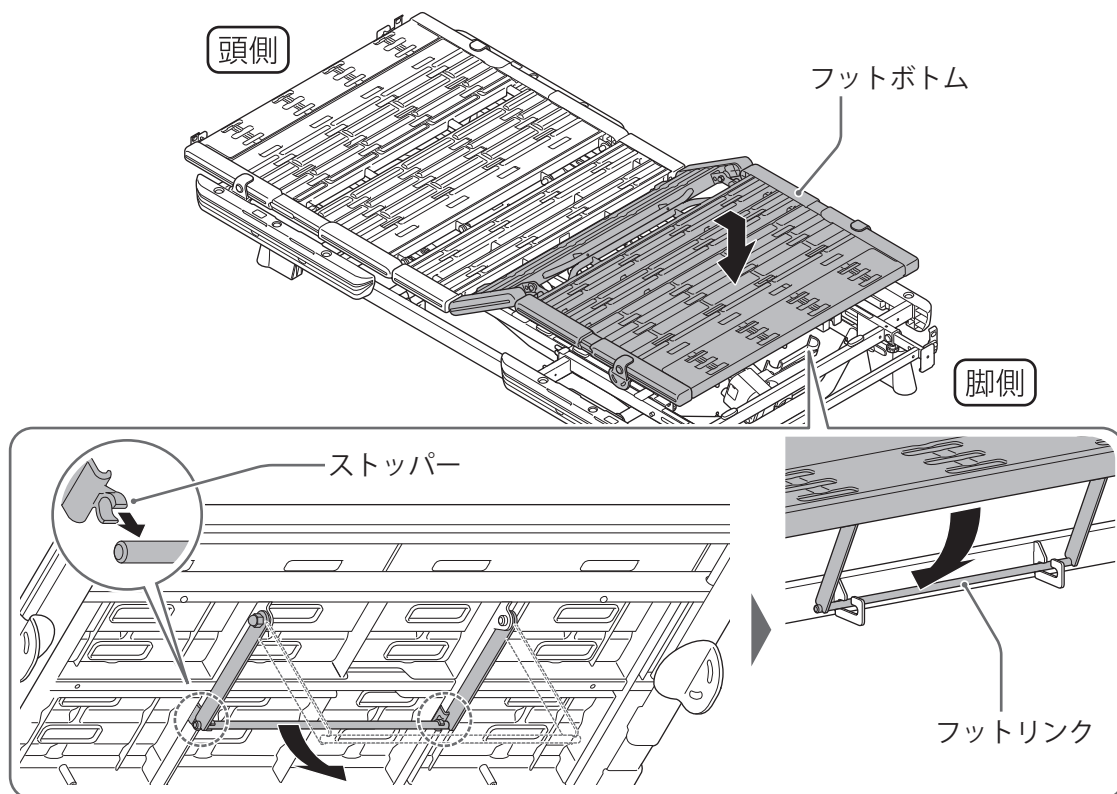
フレームの組み立て

5. 連結部分の左右にあるピンを、ガイドと切り欠きの位置を合わせるように回転し、ピンを差し込む

- ピンにはバネがついています。穴の位置に合わせて、指を離すと自動的に差し込まれます。
- ピンのガイドは2本ついています。2本目のガイドが穴位置を越え、ピンがしっかりと先端を通っていることを必ず確認して、奥まで差し込んでください。正しく差し込まれていない状態でベッドを使用すると、思わぬ事故や故障、破損の原因となります。

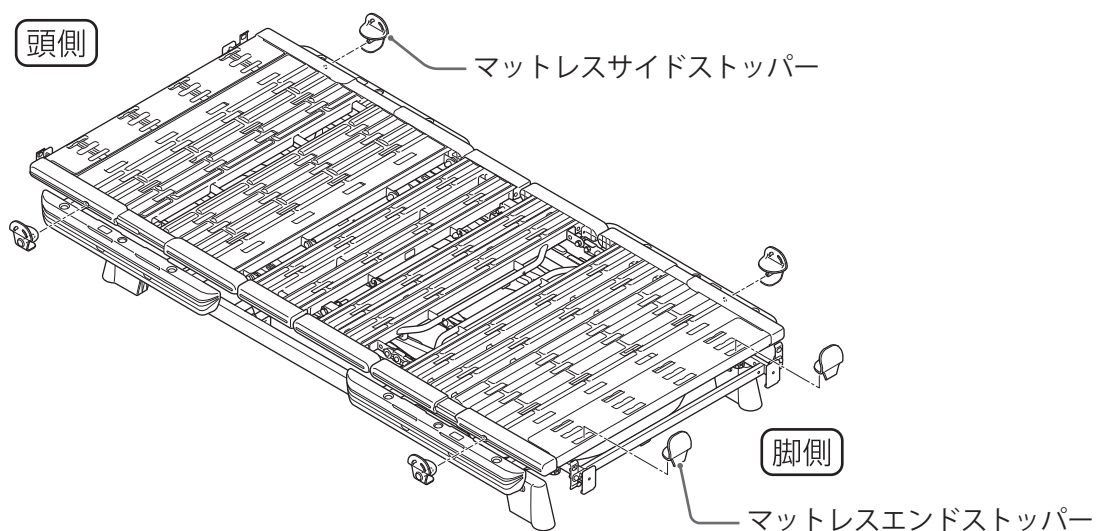


6. フットボトムを持ち上げ、フットリンクをフレームにひっかけてから、フットボトムをおろす



ステップ 8：マットレスストッパーの取り付け

1. マットレスサイドストッパー（4 か所）とマットレスエンドストッパー（2 か所）をボトムに取り付ける



- 出荷時、マットレスサイドストッパーは上下逆に装着されています。装着するときは、以下の図の向きになるようにしてください。

マットレスサイドストッパー マットレスエンドストッパー



ステップ 9：電源ケーブルの接続

電源ケーブルをコンセントに差し込む

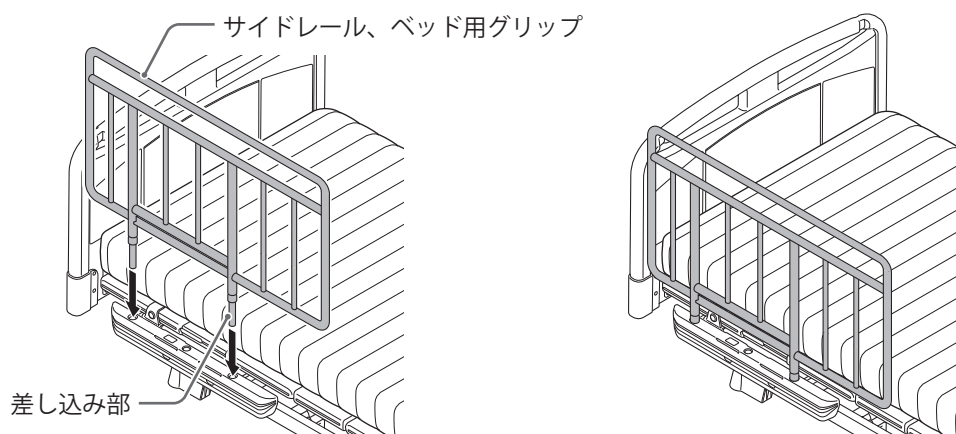
サイドレールとベッド用グリップについて

■ サイドレールの使用目的

サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして使用します。

■ サイドレールの取り付け方法

サイドレールはベッドフレームのオプション受けの取付穴に差し込みます。



■ ベッド用グリップの使用目的

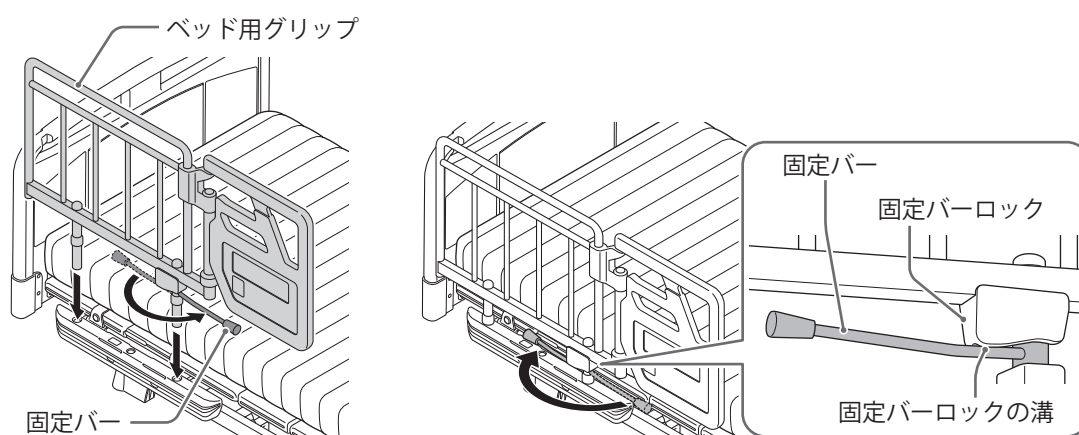
ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するためのものです。

■ ベッド用グリップの取り付け方法

ベッド用グリップは固定バーを可動グリップ側に回します。

差し込み部オプション受けの取付穴に差し込みます。

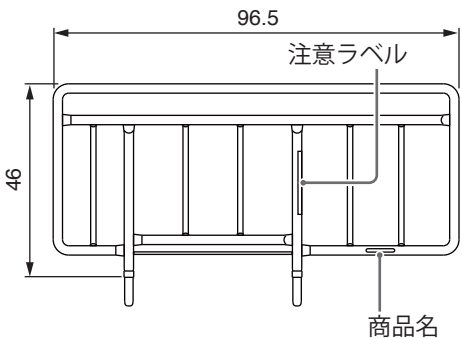
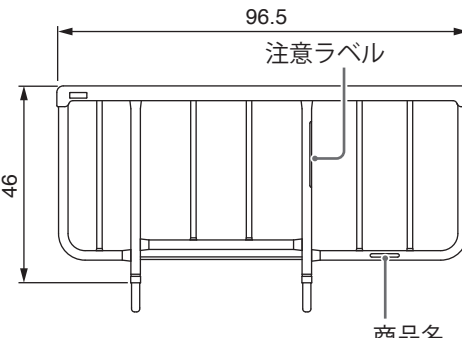
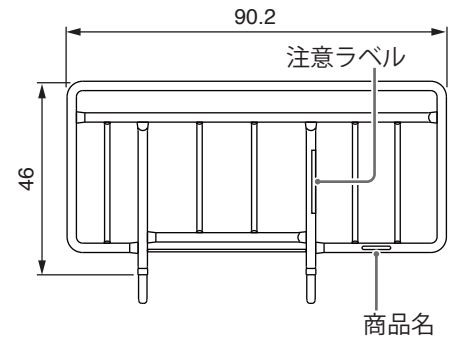
固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。



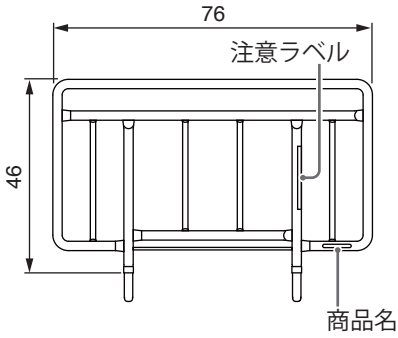
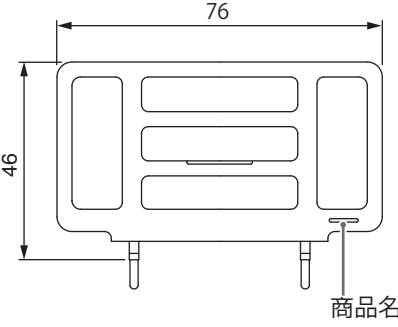
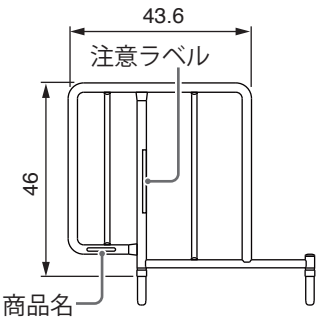
■ 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- ・ 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- ・ ベッドのフレームの長さに合わせて、サイドレールとベッド用グリップをご確認ください。
- ・ 商品名をご確認ください。
- ・ 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意していただきたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

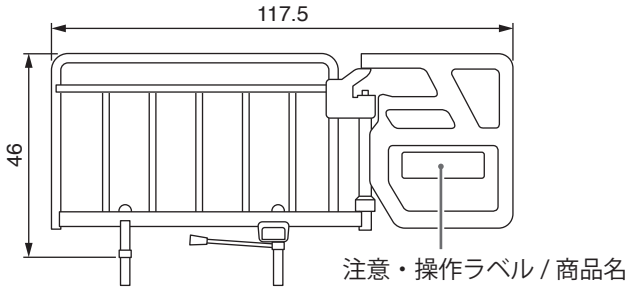
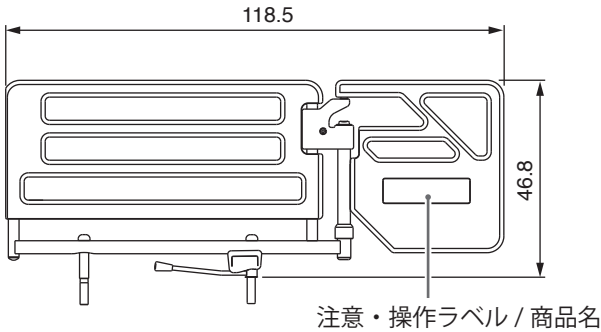
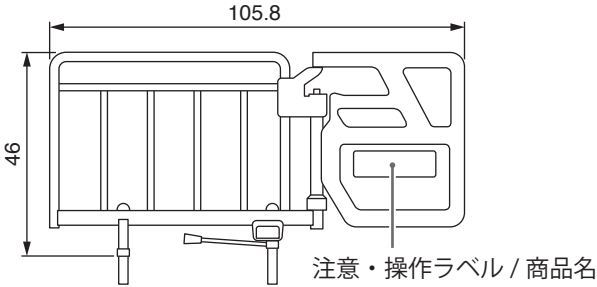
適合するサイドレール

商品名	形状 / 寸法 (cm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)
サイドレール SR-106JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 PP 3.5 (kg)
サイドレール SR-100JS		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)

サイドレールとベッド用グリップについて

商品名	形状 / 寸法 (cm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-300JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0 (kg)
サイドレール SR-300 ウッド JJ		天然木 スチール ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 4.0 (kg)
サイドレール SR-351JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)

適合するベッド用グリップ

商品名	形状 / 寸法 (cm)	材質、塗装、重量
ベッド用グリップ GR-510		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)
ベッド用グリップ GR-510 ウッド		木材 スチール エポキシ樹脂粉体塗装 10.0 (kg)
ベッド用グリップ GR-510S		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 6.0 (kg)

サイドレールとベッド用グリップについて

■ サイドレールとベッド用グリップの組み合わせ

サイドレールとベッド用グリップを並べて使用する場合の組み合わせは以下の通りです。



警告



以下の表の「×」は、サイドレールとサイドレール、およびグリップとサイドレールを並べて使用したときに、身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。「×」の組み合わせでは使用しないでください。

■ 標準サイズの場合

脚側 頭側		なし	サイドレール				
			SR-100JJ/ SR-106JJ	SR-100JS	SR-300JJ/ SR-300 ウッド JJ	SR-351JJ (外向き)	SR-351JJ (内向き)
なし		○	○	○	○	○	○
サイド レール	SR-100JJ/ SR-106JJ	○	○	×	×	○	×
	SR-100JS	○	×	×	×	○	×
	SR-300JJ/ SR-300 ウッド JJ	○	×	×	○	○	○
	SR-351JJ (外向き)	○	○	○	○	○	○
	SR-351JJ (内向き)	○	×	×	○	○	○
グリ ップ	GR-510	○	×	×	○	○	○
	GR-510 ウッド	○	×	×	○	○	○
	GR-510S	○	×	×	×	○	×

※ 1910mm マットレスを使用する場合も同様

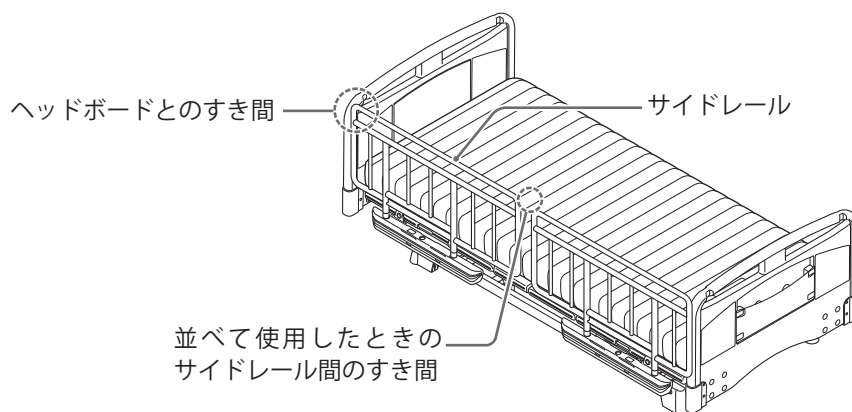
■ ショートサイズの場合

脚側 頭側		なし	サイドレール				
			SR-100JJ/ SR-106JJ	SR-100JS	SR-300JJ/ SR-300 ウッド JJ	SR-351JJ (外向き)	SR-351JJ (内向き)
なし		○	○	○	○	○	○
サイドレール	SR-100JJ/ SR-106JJ	○	×	×	×	○	×
	SR-100JS	○	×	○	×	○	×
	SR-300JJ/ SR-300 ウッド JJ	○	×	×	×	○	×
	SR-351JJ (外向き)	○	○	○	○	○	○
	SR-351JJ (内向き)	○	×	×	×	○	×
グリップ	GR-510	○	×	×	×	×	×
	GR-510 ウッド	○	×	×	×	×	×
	GR-510S	○	×	×	○	○	○

サイドレールとベッド用グリップについて

■ サイドレールとベッド用グリップの注意事項

サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。



ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

⚠ 警告	
❗	使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。乗り越えないよう注意してください。 必ずベッドの仕様に合った弊社製の専用マットレスをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。 ベッドから転落してケガをする恐れがあります。
❗	ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。 また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。
❗	サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。 サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかっていると身体が圧迫されて、傷害や生命の危険にかかわるケガをする恐れがあります。
❗	サイドレールやベッド用グリップを1本で使用（ベッドの片側での使用）する際はベッドとのすき間が大きくなる場合がありますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。サイドレール、ベッド用グリップをベッドの片側にのみ差した場合、背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体が挟まれる可能性がありますので注意してください。
❗	使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。 使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがあることを認識させてください。
❗	ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。 転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに衣服が引っかかり重大事故となる恐れがあります。
⊘	サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。 破損や転倒、転落をして事故の原因となります。
⊘	サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。 特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。 挟まれてケガをする恐れがあります。

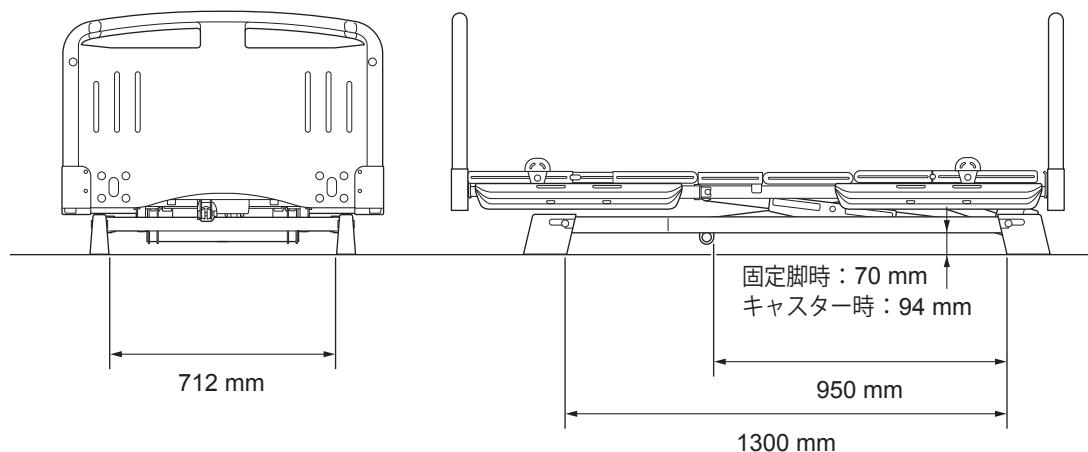
	乳幼児には使用しないでください。 乳幼児には必ず乳幼児専用のベッドを使用してください。サイドレール、ベッド用グリップの格子のすき間から転落する恐れがあります。
---	---

⚠ 注意

	サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず2箇所とも差し込んでください。 固定が不十分だと、ぐらつきが発生し事故の原因となります。
	サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。 無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。
	長期間の使用等により差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は、販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。 異常にぐらついたまま使用していると、思わぬ事故の原因となります。
	座位が保てない方のご使用には背上げ角度に注意してください。 背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。
	サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力がかかり変形、破損の原因となります。
	本取扱説明書で指定された以外の組み合わせで使用しないでください。
	お客様による修理、改造は絶対に行わないでください。 思わぬ事故の原因となります。修理は、販売店または弊社お客様相談室に依頼してください。
	思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください。

リフトの利用について

- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合のベースフレーム脚部の内幅は、約 712 mm です。
- ベッド側面からご利用になる場合のベースフレーム脚部の内幅は、約 950 mm です。床面からの高さは約 70 mm（固定脚使用時） / 94 mm（キャスター使用時）です。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店にご相談ください。
- ご利用の際は、リフトに添付されている取扱説明書に従ってください。



お手入れ方法

ベッドをお手入れするときは、下記に注意して行ってください。

- ・ ベッドフレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後で乾いた布で拭いてください。揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。
- ・ ベッドフレーム（木製部分含む）は水拭きせず、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・ ネジ類がゆるんでいないかどうか、時々確認してください。ゆるんでいたら、締めてください。
- ・ 手元スイッチを清掃するときは、必ず電源を抜いてください。溶剤や、洗剤の原液を使用せずに、中性洗剤を薄めて硬く絞った布で拭いてください。十分乾燥時間をおいた後に電源プラグをコンセントに差し、必ず動作確認を行ってください。

警告

	お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電する恐れがあります。
	電源プラグにほこりが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。 電源プラグにほこりが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。
	お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。 感電、異常動作の原因になります。
	ご自身で分解、修理、改造はしないでください。 火災、感電、異常動作の原因になります。

注意

	定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。また、破損状態での使用を避けてください。 事故の原因となります。
	ベッドを保管するときは、ヘッドボトムとフットボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。 また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。
	汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだもの、および研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。
	高温、多湿、ほこりの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。
	ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。

点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレール等の付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。日頃の点検を行い、適切な管理をお願いいたします。多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、安心して使用することができます。

■ 外観点検項目

目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ・ ヘッドボード、ボトム、脚部、サイドレール、ベッド用グリップまたはキャスターに異常がないか確認します。
- ・ ネジ、ピン、抜け止め部品などが確実に取り付けられているか確認します。
- ・ ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- ・ 電装部品（手元スイッチ、モーター）のコードやケースに損傷がないかを確認します。

■ 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- ・ 表示（ランプ）は仕様どおり点灯するか確認します。
- ・ 機能どおり動作するか確認します。
- ・ 動作時に異音の発生がないか確認します。

こんなときには

ベッドが動かない場合は、修理を依頼する前に、もう一度以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない（指定の動作をしない）。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	差込口から手元スイッチコードの先端が外れていませんか？	手元スイッチコードの先端を差込口に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードが破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理の依頼をしてください。
ベッドが昇降しない。	ベッドの周囲に障害となるものがありますか？	障害となるものを取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を確認して使用してください。
ボトムが水平にならない。	組み立てが正しく行われていますか？	正しく組み立て直してください。
	ボトムとサイドフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていますか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いてください。
ベッドがガタつく。	ネジがゆるんでいませんか？	ネジを確実に締めてください。
	ヘッドボード、フットボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボード、フットボードを正しく取り付け直してください。
	抜けている固定ピンなどはありませんか？	抜けている固定ピンなどがないか確認してください。抜けている場合は、確実に差し込んでください。
ベッドの動きが正常でない。	ベッドは確実に組み立てられていますか？	販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をしてください。

※ 構造上、背・脚の上げ下げ動作中に「コトン」と音がし、ボトムが一瞬揺れる場合がありますが、故障ではございません。

停電や故障で背や脚が上がったまま停止してしまったときは

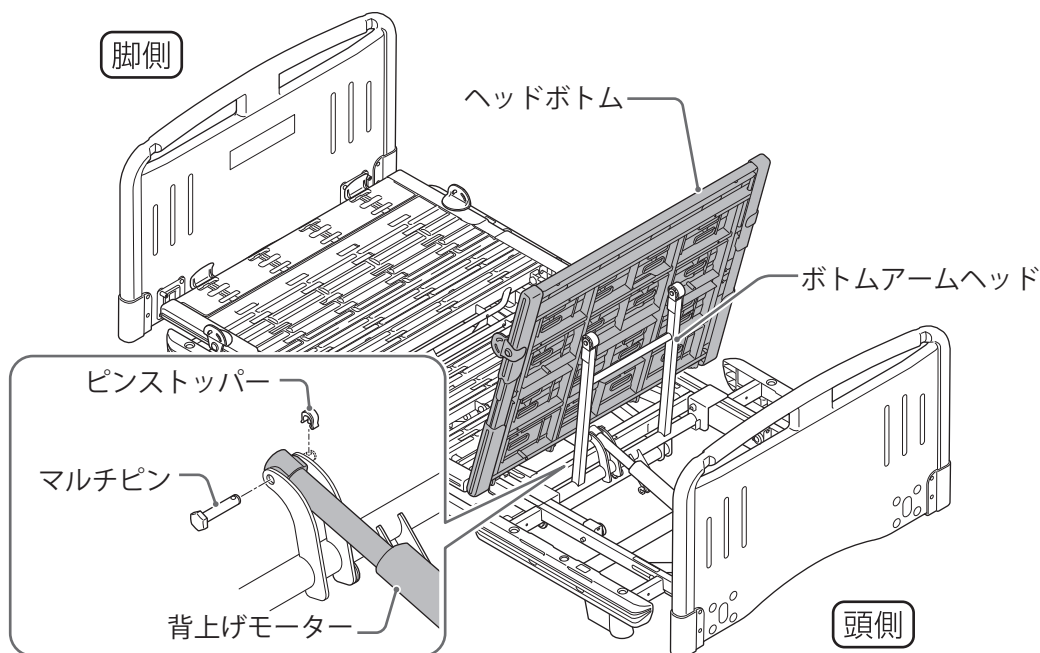
停電が復旧すれば、通常通り手元スイッチが使用できますが、就寝に支障をきたす場合は、下記の手順でモーターを外して使用してください。

背上げモーターを取り外すと、ボトムアームヘッドとヘッドボトムが落下するため、作業をするときはボトムアームヘッドとヘッドボトムを支えながら行ってください。

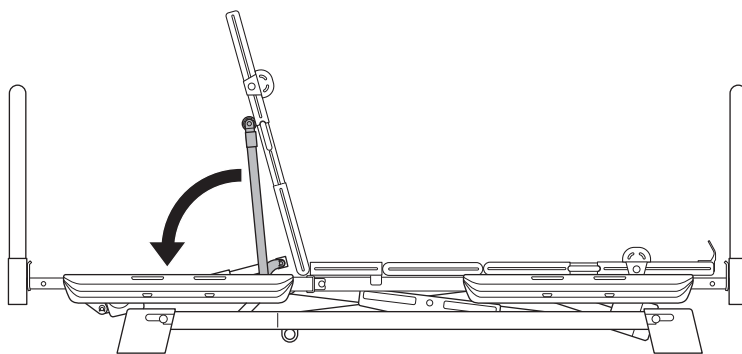
- ・作業は安全のため2名以上で行ってください。
- ・作業時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ご利用者にベッドから降りていただいた状態で作業を行ってください。

1. 背上げモーター先端のピNSTOPパーを外してマルチピンを抜く

- ・マルチピンを抜くと背上げモーターが落下するため、背上げモーターを手で支えながら行ってください。



2. ヘッドボトム、ボトムアームヘッドをゆっくりと下ろす



アフターサービスについて

■ 保証書および保証期間について

保証書

所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。

保証期間を過ぎて修理を依頼する場合

修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理いたします。

■ 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品の保有期間

弊社は本商品の補修用性能部品の、製造打ち切り後 8 年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

保証期間	1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご芳名 様 〒 □□□-□□□□
	ご住所
	TEL
販売店	店名・住所

商品の名称
表紙に記載しています。

法的責任
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

免責
本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

設置場所
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証の対象
本体のみ行います。

保証の態様
(1)保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
(2)ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。
(3)離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件
保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。
※本保証書は領収書にお届け日、販売店名の記入の無き場合は、本保証書又は領収書を併せて保管願います。

保証の除外
(1)本保証書及び納品書又は領収書のご提示が無い場合。
(2)本保証書及び納品書又は領収書にはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
(3)本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
(4)ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
(5)火災、地震、風水害、落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
(6)本製品の製造上に起因した欠陥であることを確認できない場合。
(7)本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
※上記項目については有償修理になります。

修理の記録

フランスベッド株式会社
〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042(543)3111 (代表)

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
弊社製品は厳格な検査を経て納入いたしておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げの販売店または弊社相談室にお問い合わせください。



0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時
土、日、祝祭日、年末、年始等は除く